



# 2023年度第3四半期（4-12月） 決算説明会

**コマツ出席者**

<b>取締役（兼）専務執行役員CFO</b>	<b>堀越 健</b>
<b>執行役員経営管理部長</b>	<b>菱沼 聖史</b>

**2024年1月30日（火）**

# 目次

## I.2023年度 第3四半期（4-12月）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2023年度 第3四半期（10-12月）の概況
- P7-P8 : 2023年度 第3四半期（4-12月）の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2023年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P11 : <リテールファイナンス> 2023年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2023年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

## II.2023年度の業績見通し <P14-P24>

- P15 : 2023年度の業績見通し
- P16-P21 : <建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し（全体および地域別）
- P22-P23 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P24 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

## 参考資料 <P25-P34>

- P26-P30 : 四半期毎の状況
- P31 : <建設機械・車両> 売上高とセグメント利益の推移
- P32-P34 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

# I . 2023年度 第3四半期（4-12月）決算の概要

# 2023年度 第3四半期（10-12月）決算の概況

- ・売上高は、前年同期比+5.6%増収の9,720億円。
- ・営業利益は、前年同期比+15.9%増益の1,564億円。売上高営業利益率は、+1.4ポイント上昇し16.1%。
- ・純利益は、前年同期比+42.4%増益の987億円。

金額単位：億円	2022年10-12月 ¥143.6/USD ¥144.0/EUR ¥93.8/AUD	2023年度10-12月 ¥149.7/USD ¥159.9/EUR ¥96.7/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	9,205	9,720	+515	+5.6%
セグメント利益	1,334	1,533	+199	+14.9%
その他の営業収益（▲費用）	15	32	+16	-
営業利益	1,350	1,564	+215	+15.9%
売上高営業利益率	14.7%	16.1%	+1.4ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 229	▲ 142	+87	-
税引前四半期純利益	1,120	1,423	+302	+27.0%
当社株主に帰属する四半期純利益	693	987	+294	+42.4%

# 2023年度 第3四半期（10-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+6.3%増収の9,182億円。セグメント利益は、前年同期比+22.2%増益の1,491億円。セグメント利益率は、+2.1ポイント上昇し16.2%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+23.2%増収の272億円。セグメント利益は、前年同期比▲10.6%減益の57億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+7.7%増収の465億円。セグメント利益は、前年同期比▲72.8%減益の13億円。

□ : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

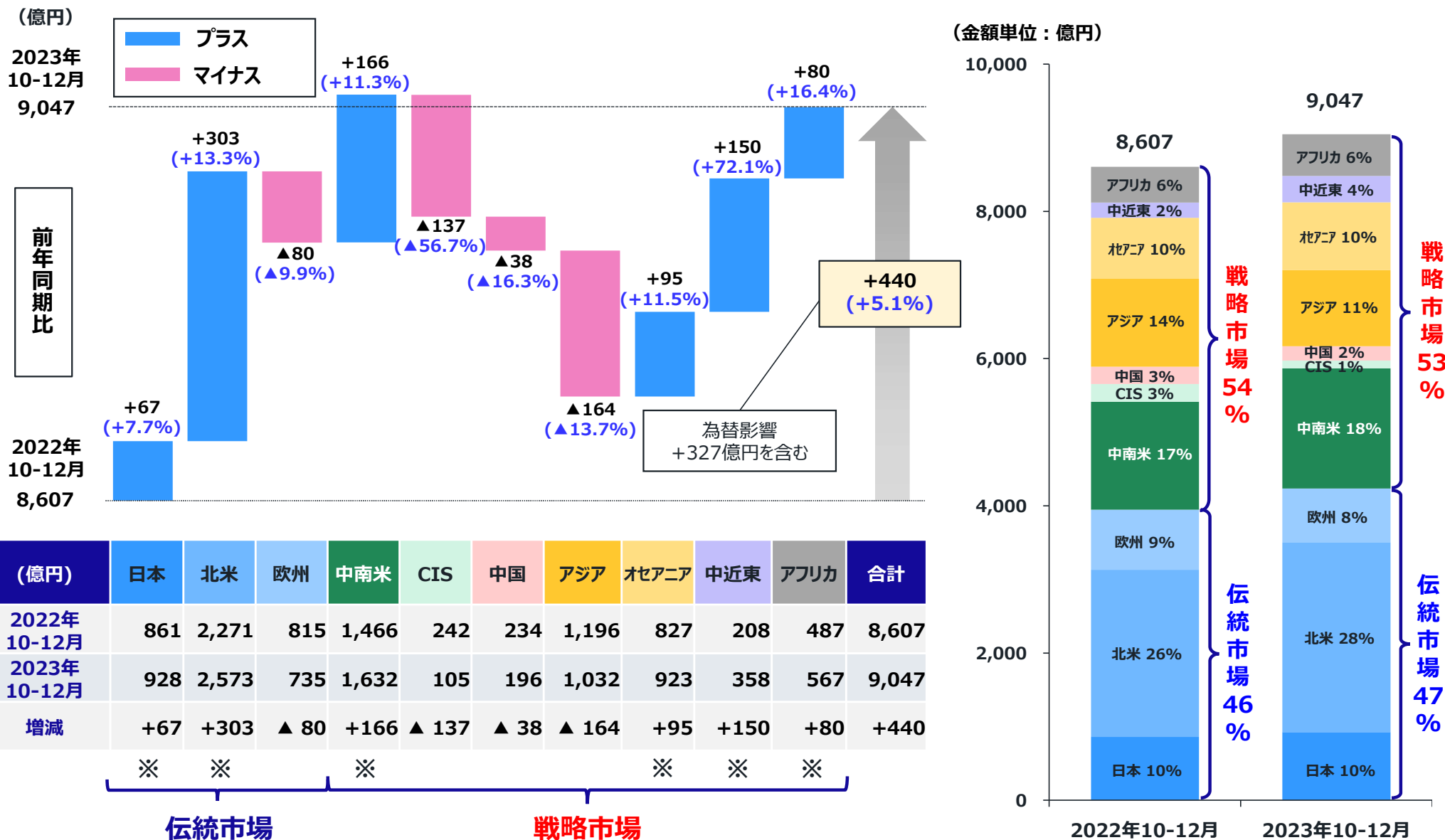
金額単位：億円	2022年10-12月		2023年10-12月		前年同期比		
					増減	増減率	
売上高		9,205		9,720		+515	+5.6%
建設機械・車両	(8,607)	8,634	(9,047)	9,182	(+440)	+548	(+5.1%) +6.3%
リテールファイナンス	(171)	221	(213)	272	(+42)	+51	(+24.6%) +23.2%
産業機械他	(427)	431	(459)	465	(+32)	+33	(+7.6%) +7.7%
消去		▲ 82		▲ 199		▲ 117	-
セグメント利益	□ 14.5%	1,334	□ 15.8%	1,533	□ +1.3ポイント	+199	+14.9%
建設機械・車両	□ 14.1%	1,220	□ 16.2%	1,491	□ +2.1ポイント	+271	+22.2%
リテールファイナンス	□ 29.0%	64	□ 21.0%	57	□ ▲8.0ポイント	▲ 7	▲10.6%
産業機械他	□ 10.8%	47	□ 2.7%	13	□ ▲8.1ポイント	▲ 34	▲72.8%
消去または全社		3		▲ 28		▲ 31	-

## 各セグメントの状況：

- 建設機械・車両  
販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- リテールファイナンス  
金利上昇や為替のプラス影響により増収、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったこと等により減益。
- 産業機械他  
自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。  
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。

# <建設機械・車両> 2023年度 第3四半期（10-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+5.1%増収の9,047億円。
- ・北米、中南米、中近東などで増加。アジア、CIS、欧州などで減少。



# 2023年度 第3四半期（4-12月）の概況

- ・売上高は、前年同期比+10.1%増収の2兆7,950億円。
- ・営業利益は、前年同期比+30.8%増益の4,534億円、売上高営業利益率は、+2.6ポイント上昇し16.2%。
- ・純利益は、前年同期比+31.2%増益の3,043億円。

金額単位：億円	2022年4-12月 ¥135.6/USD ¥140.0/EUR ¥93.2/AUD	2023年4-12月 ¥143.4/USD ¥155.0/EUR ¥94.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	25,392	27,950	+2,558	+10.1%
セグメント利益	3,462	4,512	+1,050	+30.3%
その他の営業収益（▲費用）	4	22	+18	-
営業利益	3,466	4,534	+1,068	+30.8%
売上高営業利益率	13.6%	16.2%	+2.6ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 68	▲ 232	▲ 164	-
税引前四半期純利益	3,398	4,303	+905	+26.6%
当社株主に帰属する四半期純利益	2,319	3,043	+724	+31.2%

# 2023年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+10.8%増収の2兆6,258億円。セグメント利益は、前年同期比+38.9%増益の4,299億円。セグメント利益率は、+3.3ポイント上昇し16.4%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+17.5%増収の747億円。セグメント利益は、前年同期比▲12.0%減益の187億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+3.7%増収の1,315億円。セグメント利益は、前年同期比▲63.7%減益の57億円。

□ : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2022年4-12月		2023年4-12月		前年同期比	
					増減	増減率
売上高	25,392		27,950		+2,558 +10.1%	
建設機械・車両	(23,632)	23,696	(26,075)	26,258	(+2,443) +2,562	(+10.3%) +10.8%
リテールファイナンス	(506)	636	(582)	747	(+76) +111	(+15.1%) +17.5%
産業機械他	(1,255)	1,269	(1,292)	1,315	(+38) +46	(+3.0%) +3.7%
消去	▲ 208		▲ 370		▲ 162 -	
セグメント利益	□ 13.6%	3,462	□ 16.1%	4,512	□ +2.5ポイント +1,050	+30.3%
建設機械・車両	□ 13.1%	3,095	□ 16.4%	4,299	□ +3.3ポイント +1,203	+38.9%
リテールファイナンス	□ 33.4%	212	□ 25.0%	187	□ ▲8.4ポイント ▲ 25	▲12.0%
産業機械他	□ 12.3%	156	□ 4.3%	57	□ ▲8.0ポイント ▲ 100	▲63.7%
消去または全社	▲ 3		▲ 30		▲ 28 -	

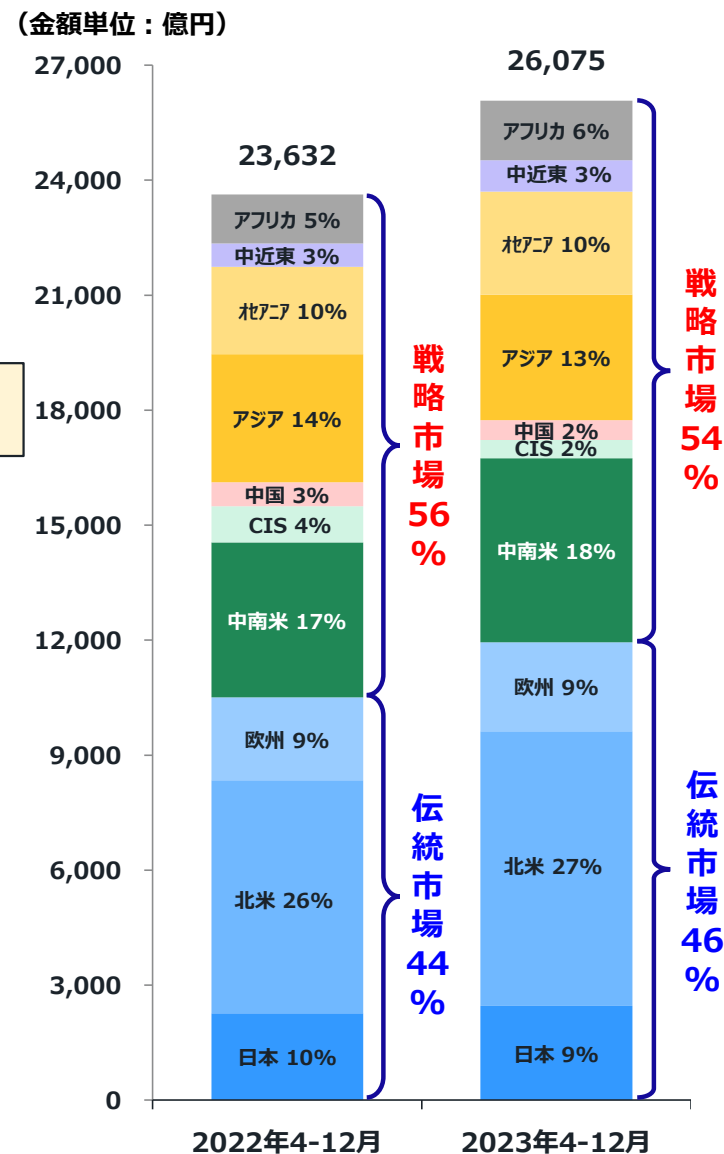
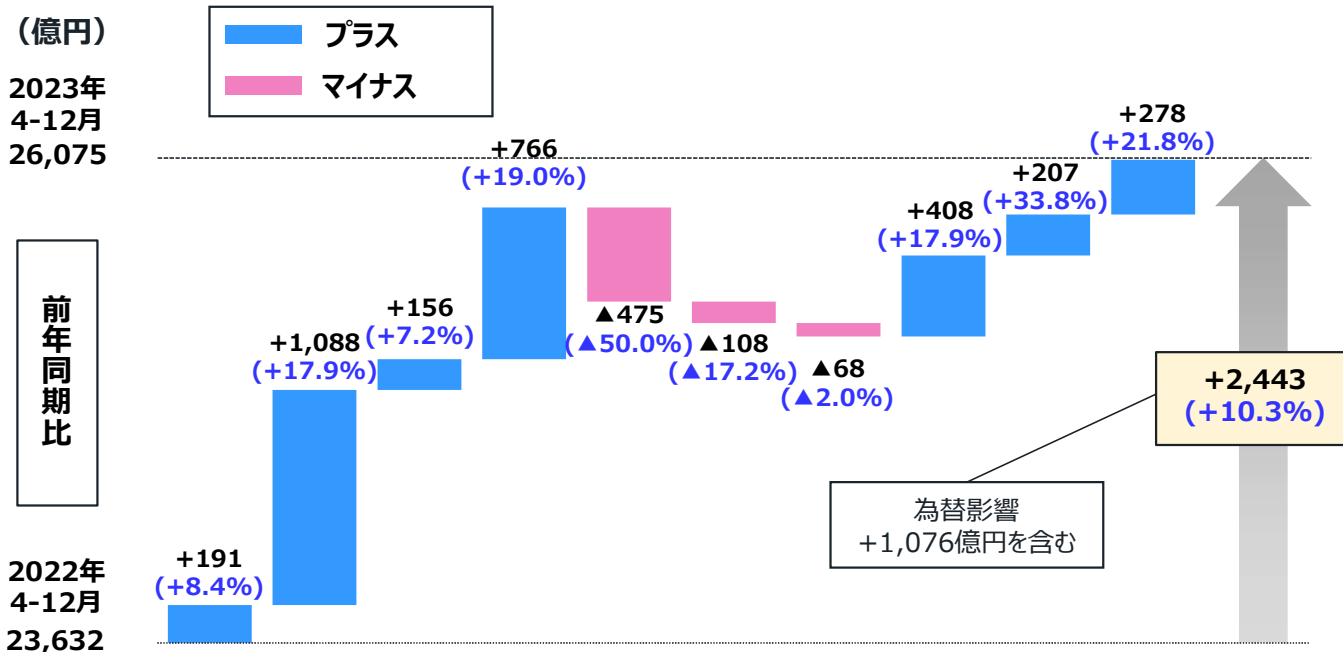
## 各セグメントの状況：

- 建設機械・車両  
販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- リテールファイナンス  
金利上昇や為替のプラス影響により増収、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったこと等により減益。
- 産業機械他  
自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。  
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。



# <建設機械・車両> 2023年度 第3四半期（4-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+10.3%増収の2兆6,075億円。
- ・北米、中南米、オセアニアなどで増加。CIS、中国などで減少。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2022年 4-12月	2,267	6,080	2,163	4,037	949	626	3,340	2,280	611	1,279	23,632
2023年 4-12月	2,458	7,168	2,318	4,803	475	518	3,271	2,688	818	1,557	26,075
増減	+191	+1,088	+156	+766	▲475	▲108	▲68	+408	+207	+278	+2,443

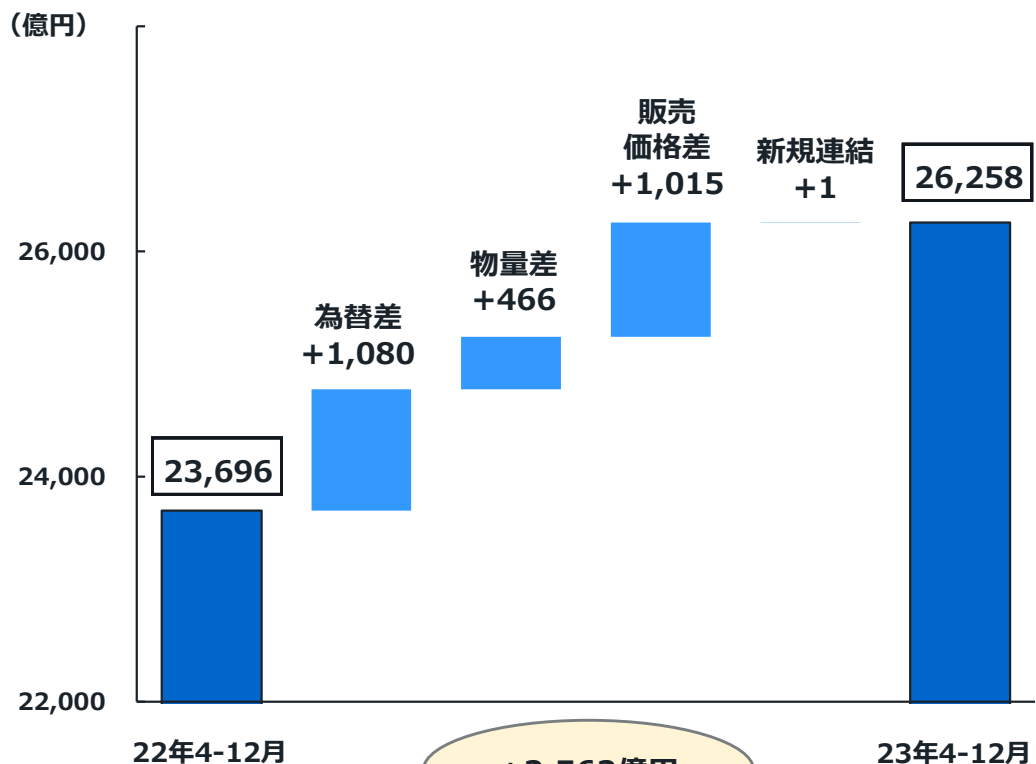
伝統市場

戦略市場

# <建設機械・車両> 2023年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、為替および販売価格のプラス影響等により、前年同期比+2,562億円の増収。
- ・セグメント利益は、原価・固定費の増加を為替および販売価格のプラス影響等により吸収し、前年同期比+1,203億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+3.3ポイント上昇し16.4%。

## 売上高 2022年4-12月 vs. 2023年4-12月

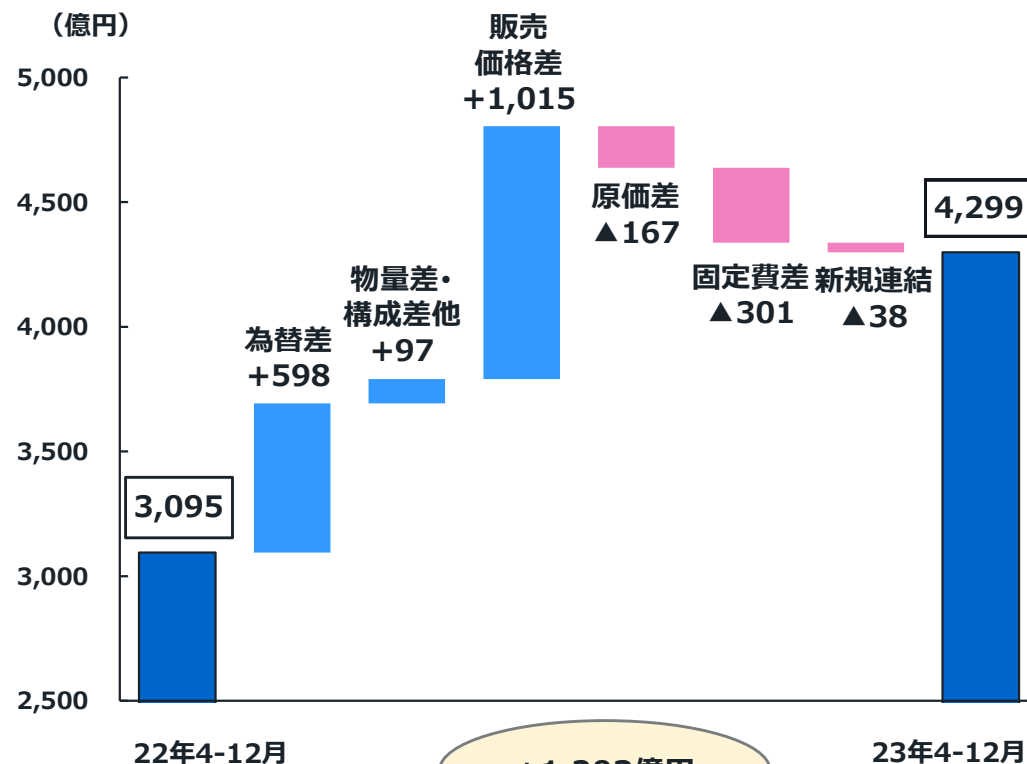


¥135.6/USD  
¥140.0/EUR  
¥93.2/AUD

■ プラス要因  
■ マイナス要因

¥143.4/USD  
¥155.0/EUR  
¥94.0/AUD

## セグメント利益 2022年4-12月 vs. 2023年4-12月



13.1%

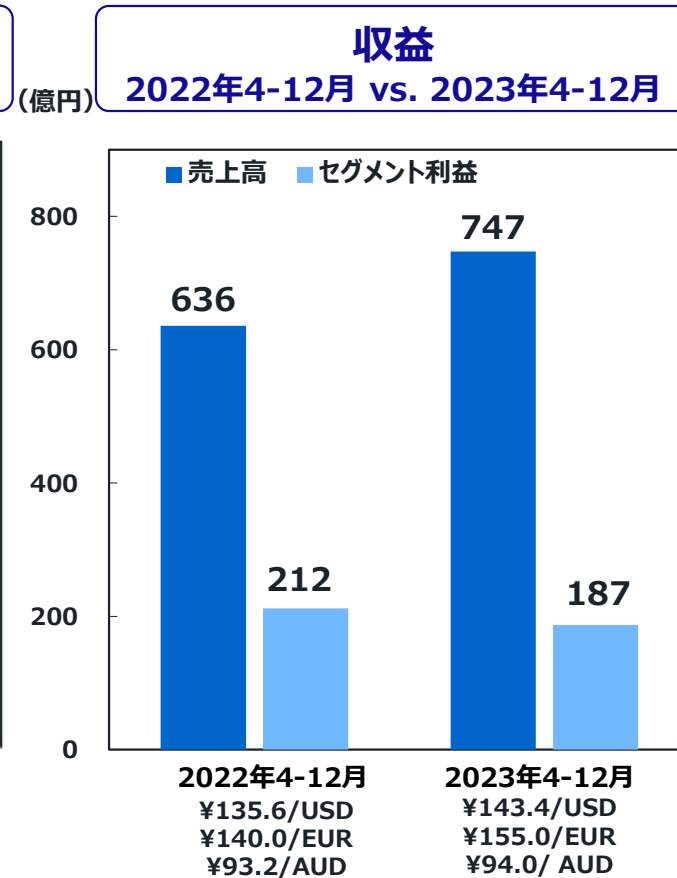
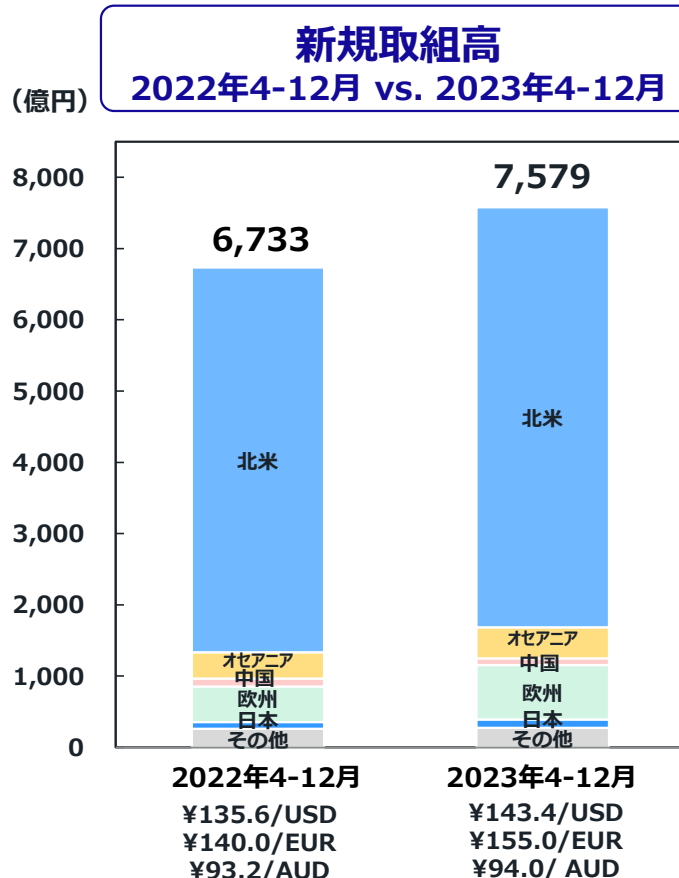
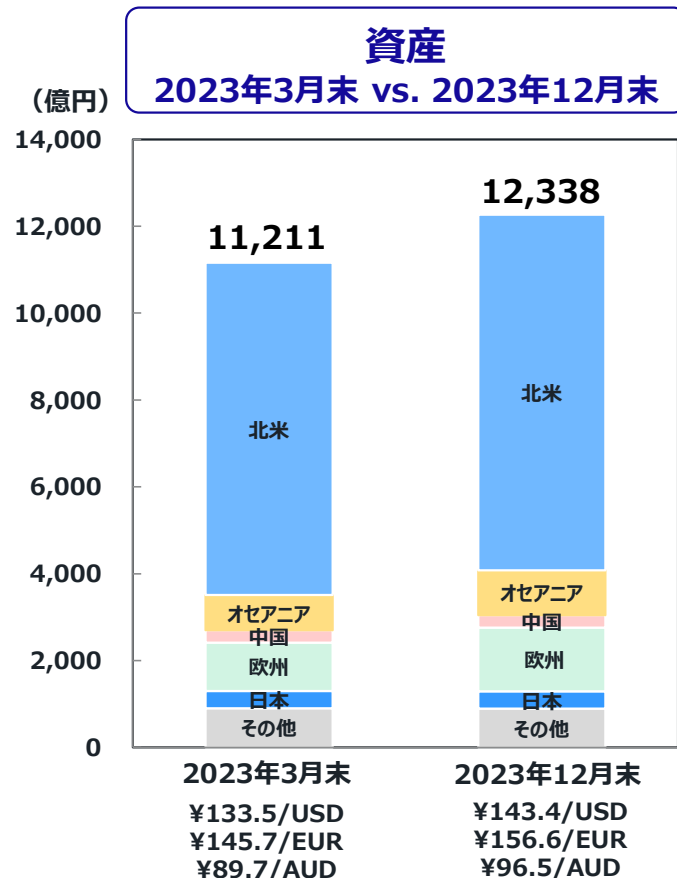
■ プラス要因  
■ マイナス要因

売上高セグメント利益率

16.4%

# <リテールファイナンス> 2023年度 第3四半期（4-12月）の状況

- ・ 資産は、為替の影響や新規取組高の増加により、前年度末比+1,127億円の増加。
- ・ 新規取組高は、為替の影響や建設機械の販売増に伴い、前年同期比+846億円の増加。
- ・ 売上高は、金利上昇や為替の影響により、前年同期比+111億円の増収。
- ・ セグメント利益は、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより、前年同期比▲25億円の減益。

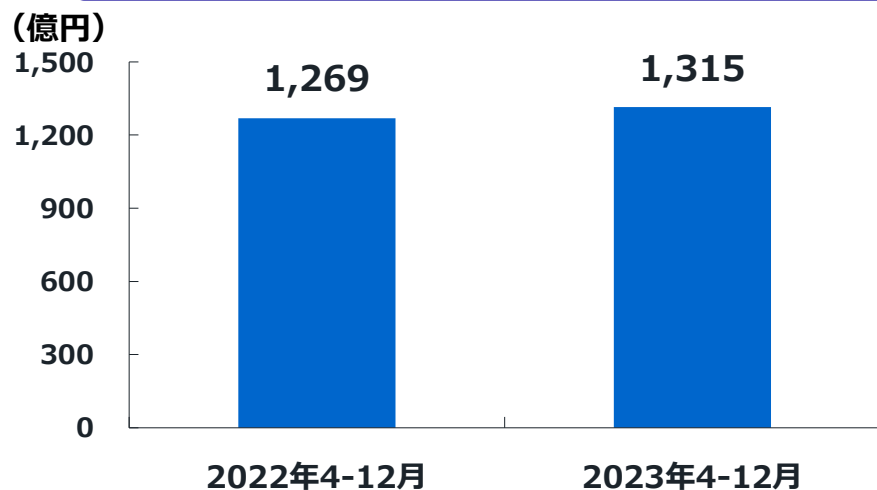


金額単位：億円	2023年3月末	2023年12月末	前年度末比
借入金	8,569	9,505	+936
ネットベースの借入金	8,453	9,298	+845
ネットD/Eレシオ	3.77	3.86	+0.09ポイント

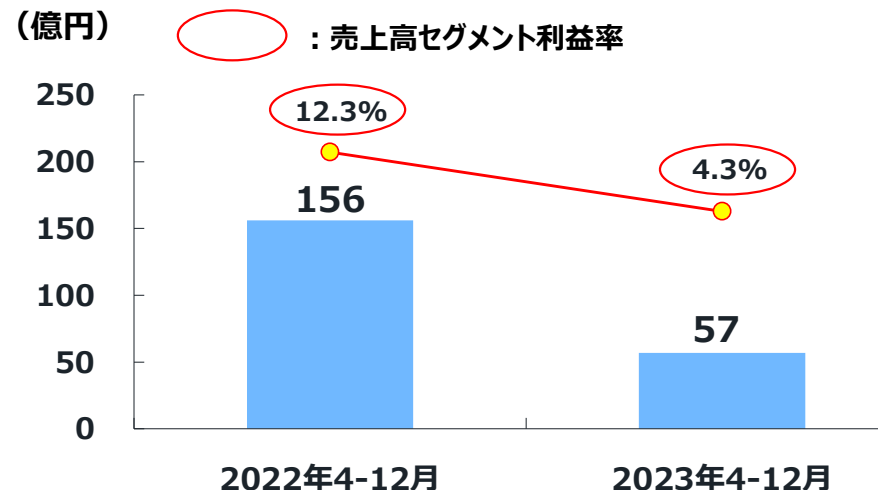
# <産業機械他> 2023年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比+3.7%増収の1,315億円、セグメント利益は、▲63.7%減益の57億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
- ・半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。
- ・売上高セグメント利益率は、4.3%。

**売上高**  
2022年4-12月 vs. 2023年4-12月



**セグメント利益**  
2022年4-12月 vs. 2023年4-12月



## 売上高の内訳

(億円)	2022年 4-12月	2023年 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	267	341	+73	+27.3%
コマツNTC	230	285	+54	+23.5%
ギガフォトン	446	387	▲59	▲13.2%
その他	325	303	▲22	▲6.7%
合計	1,269	1,315	+46	+3.7%

# 連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比+4,936億円増加の5兆3,694億円。主に為替と運転資本の影響により増加。
- ・棚卸資産は、円安の影響に加え、鉱山機械への需要増の対応などにより増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比+0.7ポイント増加し52.8%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2023年3月末 ¥133.5/USD ¥145.7/EUR ¥89.7/AUD	2023年12月末 ¥143.4/USD ¥156.6/EUR ¥96.5/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,900	3,435	+535
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	16,816	17,561	+745
棚卸資産	12,272	14,597	+2,325
有形固定資産	8,364	8,855	+491
その他資産	8,406	9,247	+841
<b>資産合計</b>	<b>48,758</b>	<b>53,694</b>	<b>+4,936</b>
支払手形・買掛金	3,624	3,219	▲ 405
借入金・社債 [b]	10,538	12,074	+1,536
その他負債	7,818	8,504	+686
<b>負債合計</b>	<b>21,979</b>	<b>23,797</b>	<b>+1,818</b>
（株主資本比率）	（52.1%）	（52.8%）	（+0.7ポイント）
株主資本	25,396	28,363	+2,967
非支配持分	1,383	1,534	+151
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>48,758</b>	<b>53,694</b>	<b>+4,936</b>
ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	○ 0.30 7,638	○ 0.30 8,639	+1,002
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○ ▲0.04	○ ▲0.03	

## Ⅱ. 2023年度の業績見通し

# 2023年度の業績見通し

・2023年度の業績見通しは、前回の見通し（10月）から変更無し。

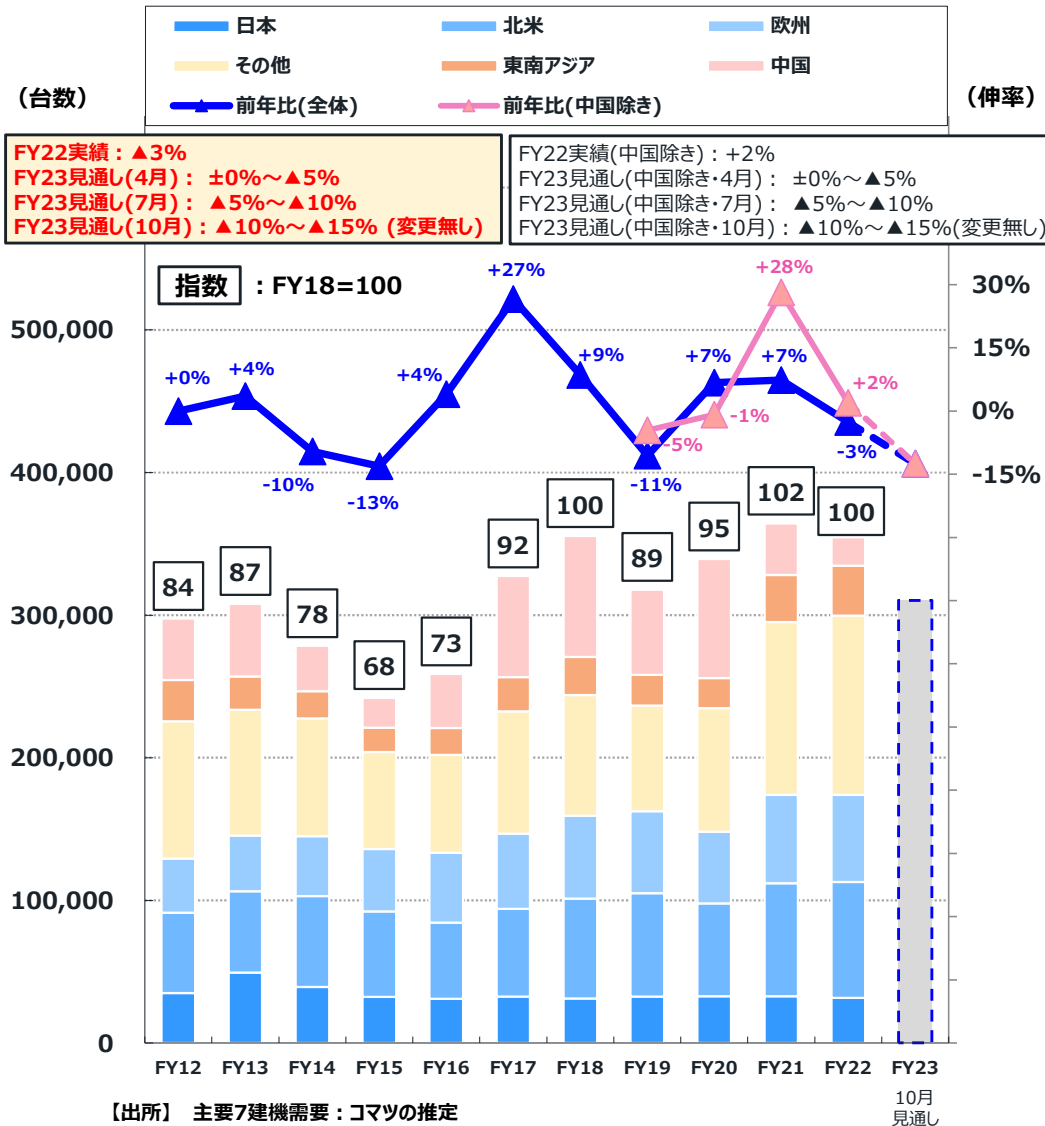
下期為替の前提 1ドル:135円、1ユーロ:148円、1豪ドル:88円

金額単位：億円	2022年度 (A) ¥134.8/USD ¥140.3/EUR ¥92.5/AUD	2023年度 (10月見通し) (B) ¥137.7/USD ¥150.3/EUR ¥90.3/AUD	2023年度 (4月見通し) ¥125.0/USD ¥133.0/EUR ¥83.0/AUD	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
売上高	35,435	36,600	33,820	+1,165	+3.3%
セグメント利益	4,935	5,570	4,980	+635	+12.9%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 28	▲ 90	▲ 70	▲ 62	-
営業利益	4,907	5,480	4,910	+573	+11.7%
売上高営業利益率	13.8%	15.0%	14.5%	+1.2ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 143	▲ 390	▲ 490	▲ 247	-
税引前当期純利益	4,764	5,090	4,420	+326	+6.8%
当社株主に帰属する当期純利益	3,264	3,400	2,990	+136	+4.2%
ROE	13.7%	13.0%	11.7%	▲0.7ポイント	
1株当たり配当金（円）	139円	144円	139円	+5円	
配当性向	40.3%	40.1%	44.0%		

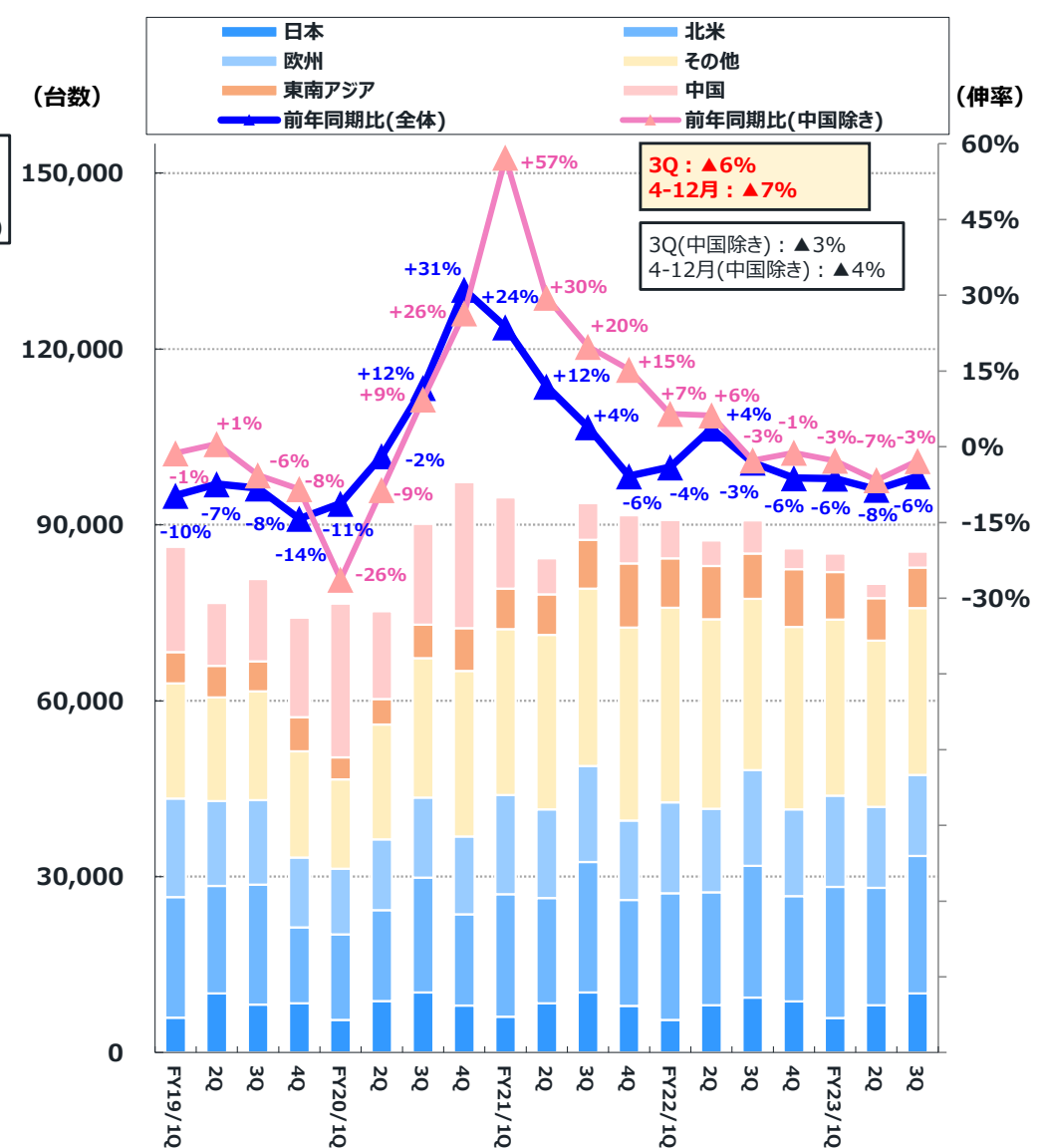
# <建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2023年度の第3四半期の需要は、前年同期比▲6%の減少。中国を除く地域では、前年同期比▲3%の減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（10月見通しから変更無し）。
- 中国を除く地域では、前年比▲10%～▲15%の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 主要7建機 年度別需要推移



## 主要7建機 四半期別需要推移

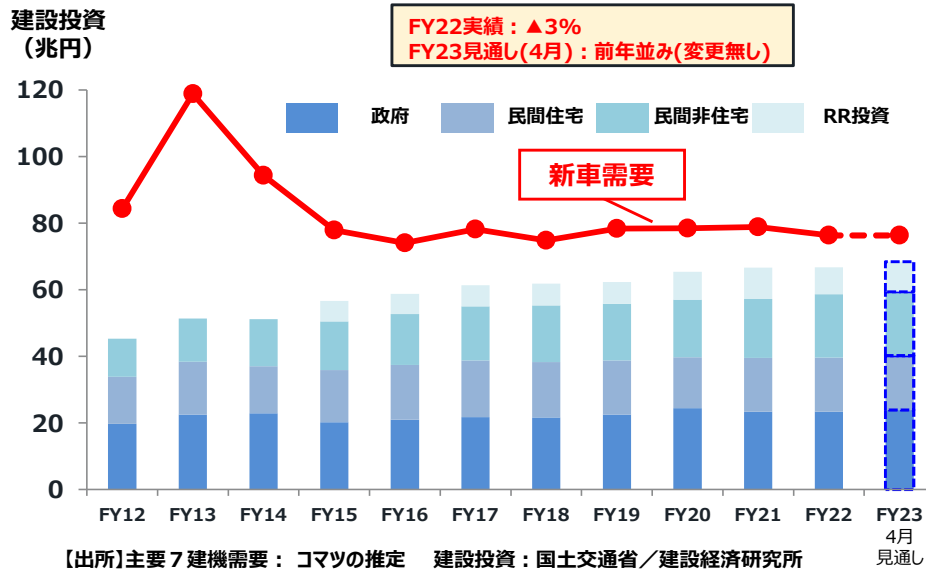




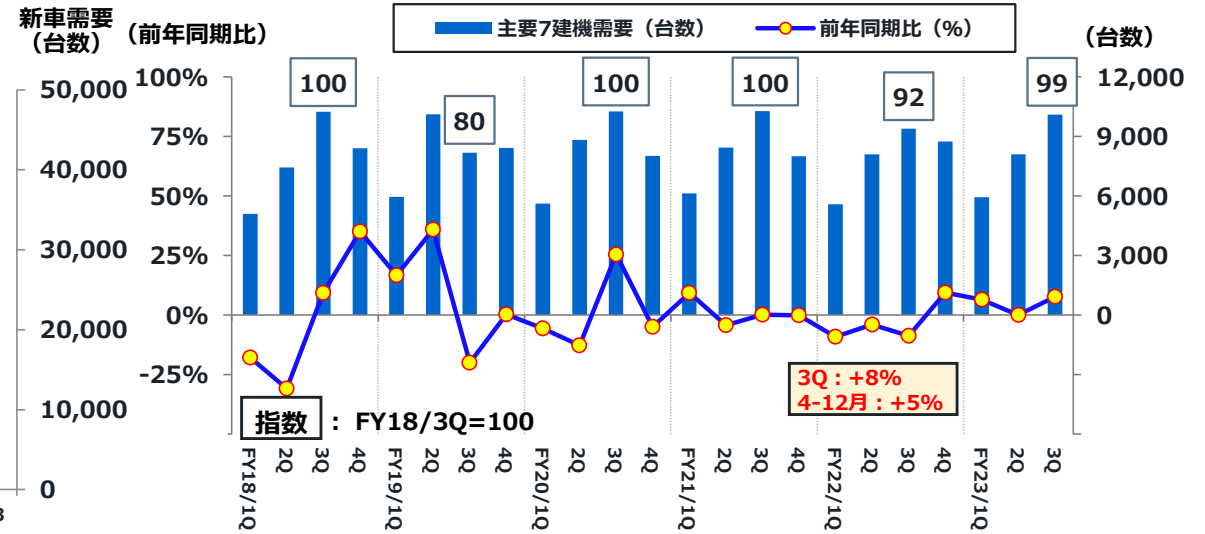
# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比+8%の増加。公共工事、民間工事向け共に堅調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年並みの見通し（4月見通しから変更無し）。

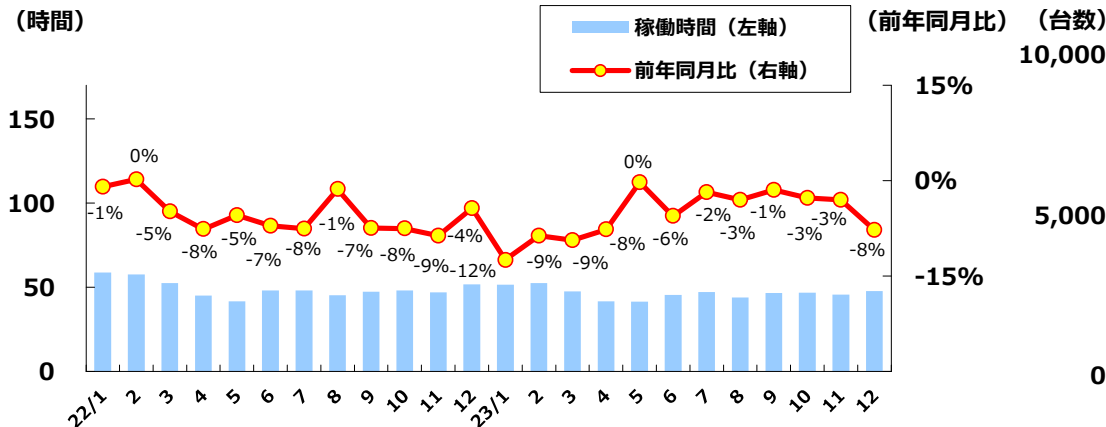
## 新車需要（主要7建機）と建設投資



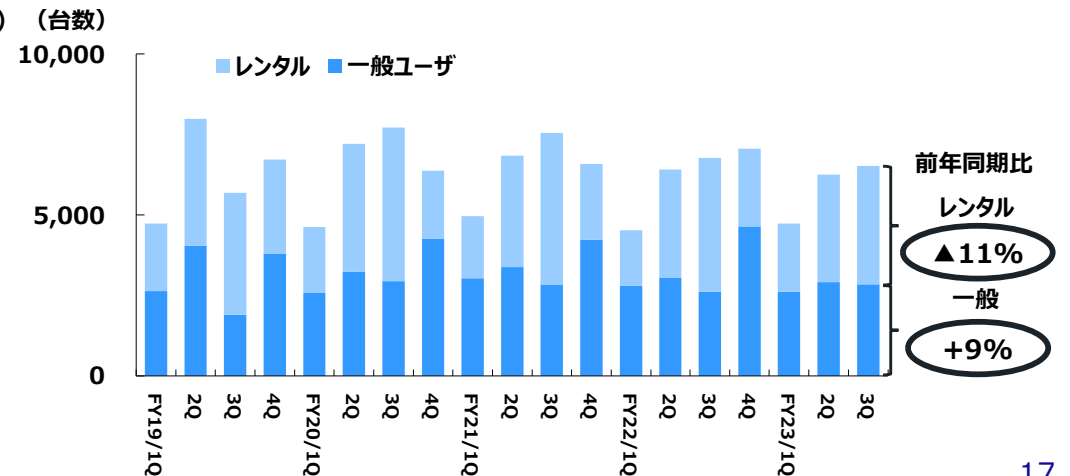
## 主要7建機 四半期別需要推移



## Komtrax（日本）月平均稼働時間推移



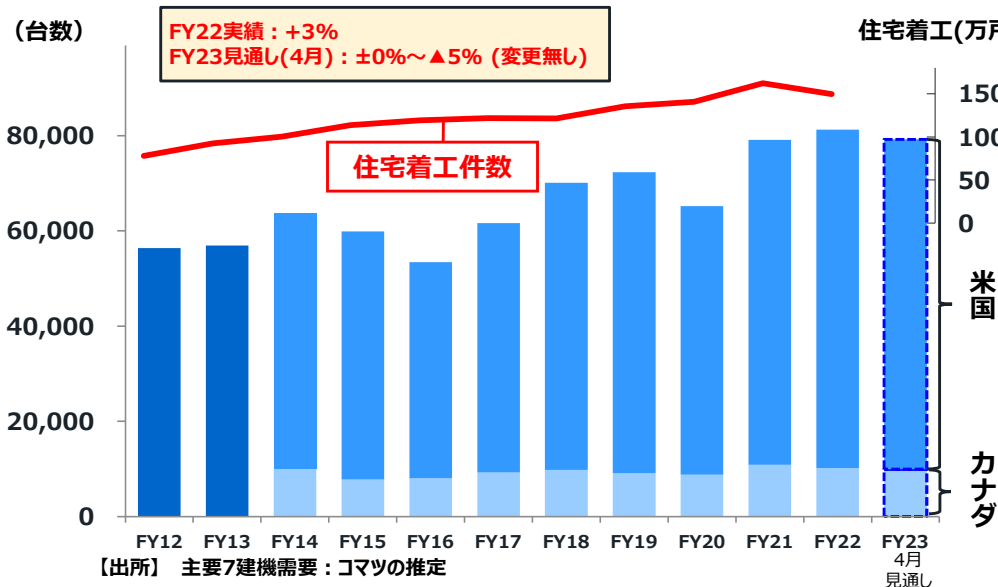
## 油圧ショベル 需要推移（レンタル/一般向け）



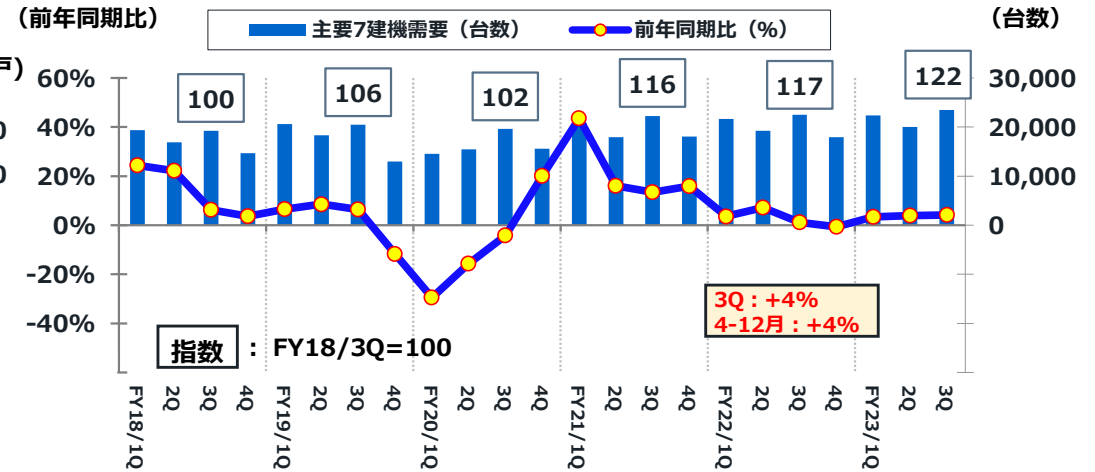
# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比+4%の増加。レンタル向けは一服感があるものの、住宅建設向けが底を打ち、インフラ・エネルギー関連向けは堅調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

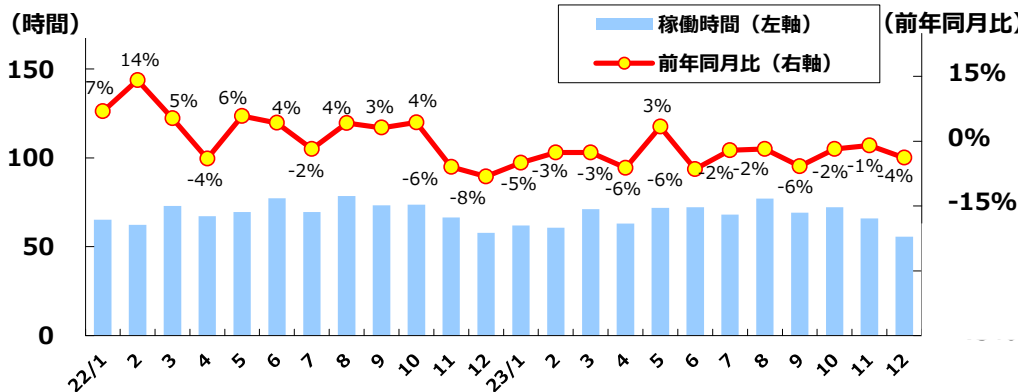
## 主要7建機 需要推移と住宅着工件数



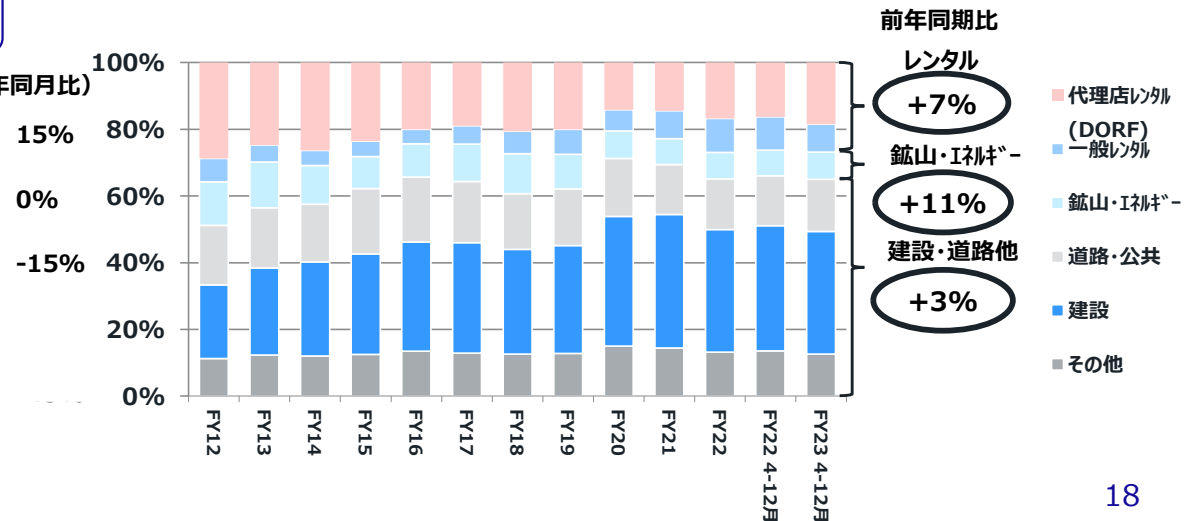
## 主要7建機 四半期需要推移



## Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



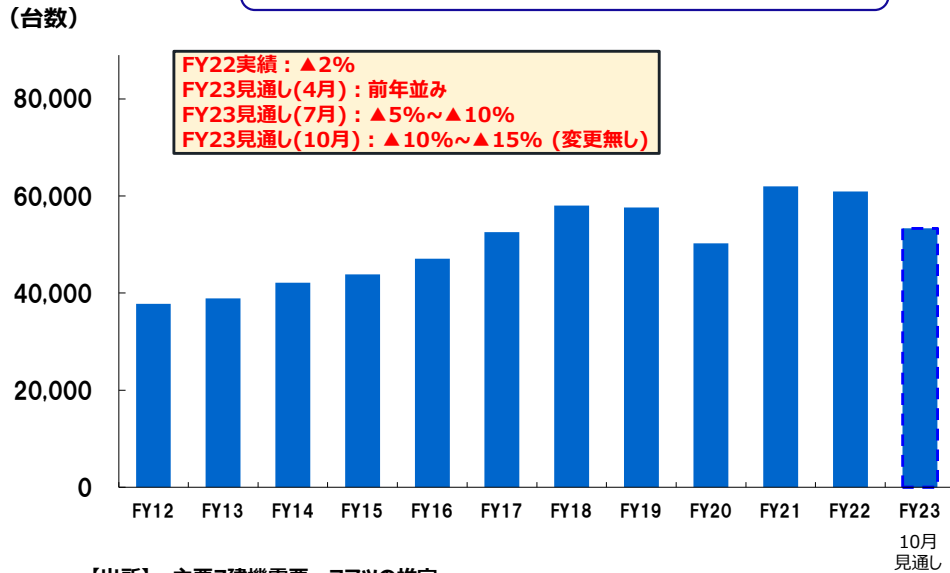
## セグメント別需要構成比 (台数ベース)



# ＜建設機械・車両＞主要市場の需要推移と見通し：③欧州

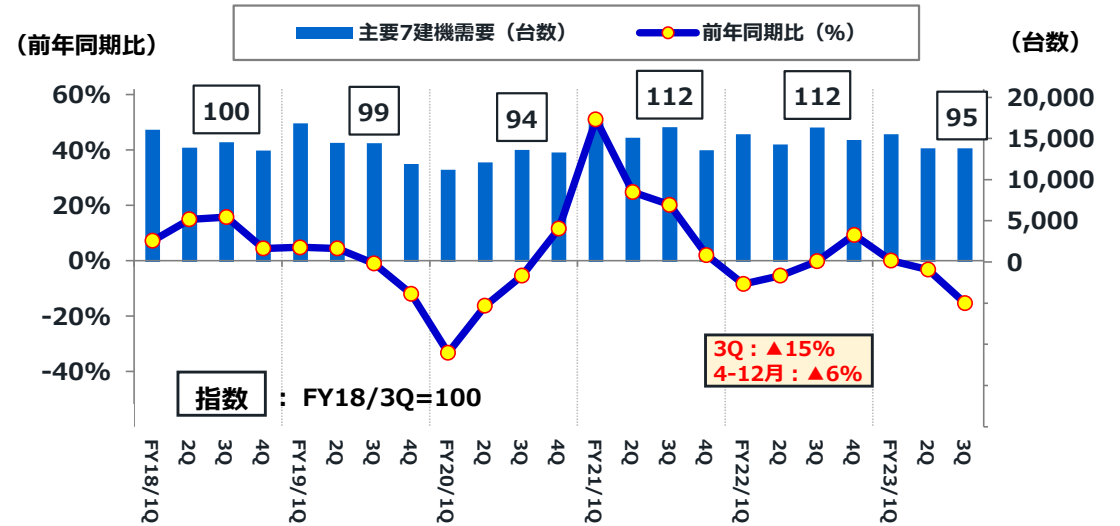
- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比▲15%の減少。金利上昇とエネルギー価格の高止まりの影響で、主要市場であるイギリスやドイツ、イタリアなどを中心に一般建機の需要が減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 主要7建機 年度別需要推移

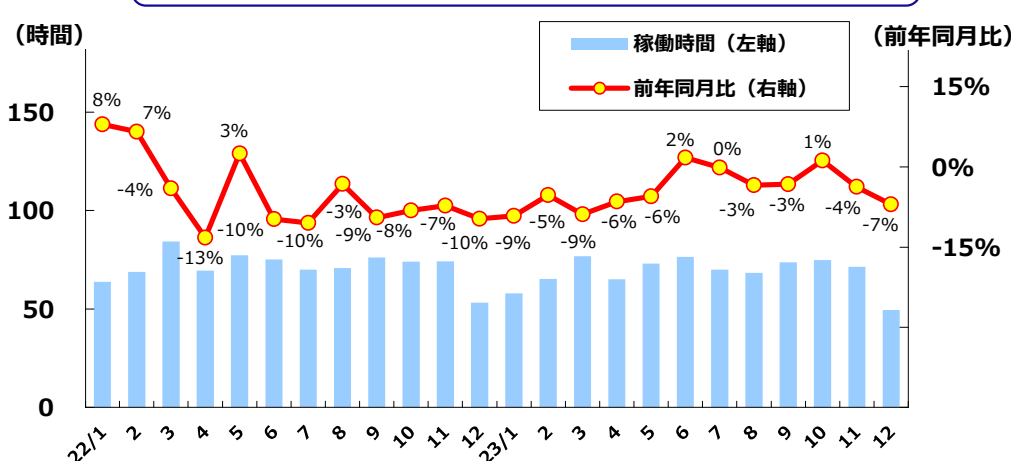


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

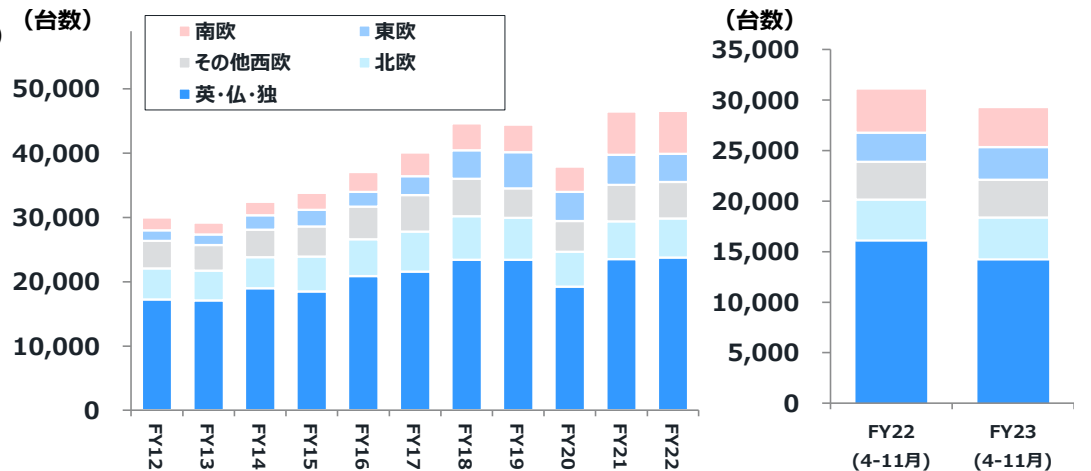
## 主要7建機 四半期需要推移



## Komtrax (欧州) 月平均稼働時間推移



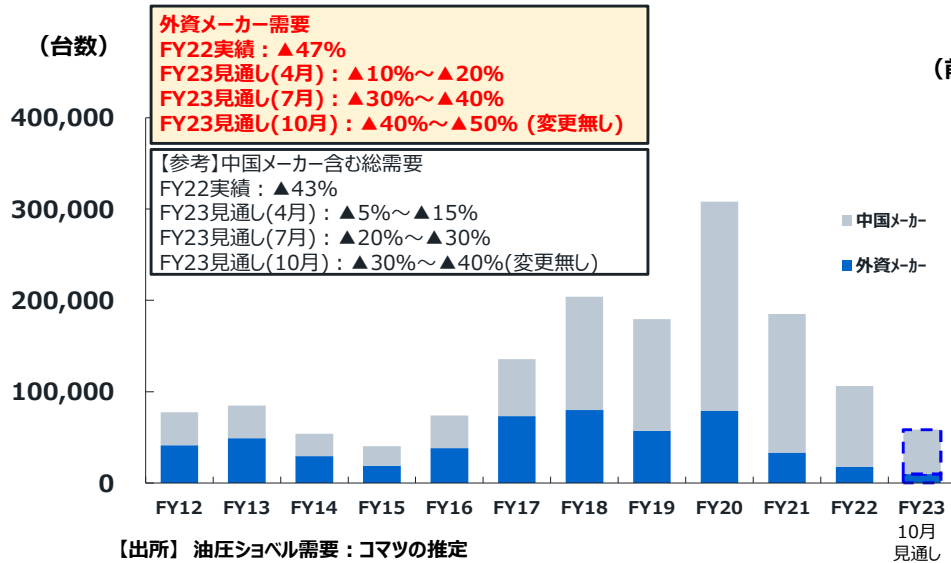
## 主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



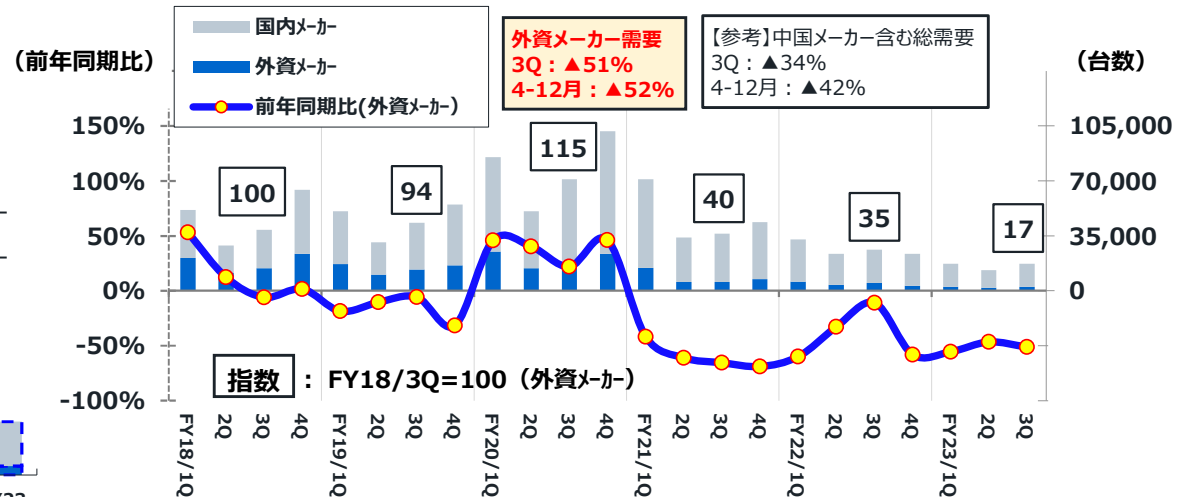
# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：④中国

- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比▲51%の減少。不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞などにより需要が大幅に減少する状況が継続。
- ・2023年度の需要は、前年比▲40%～▲50%の見通し（10月見通しから変更無し）。

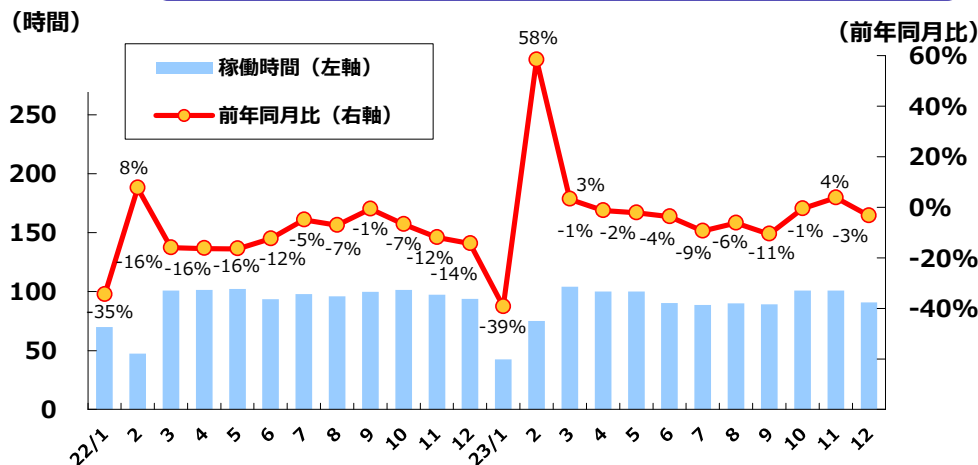
## 油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



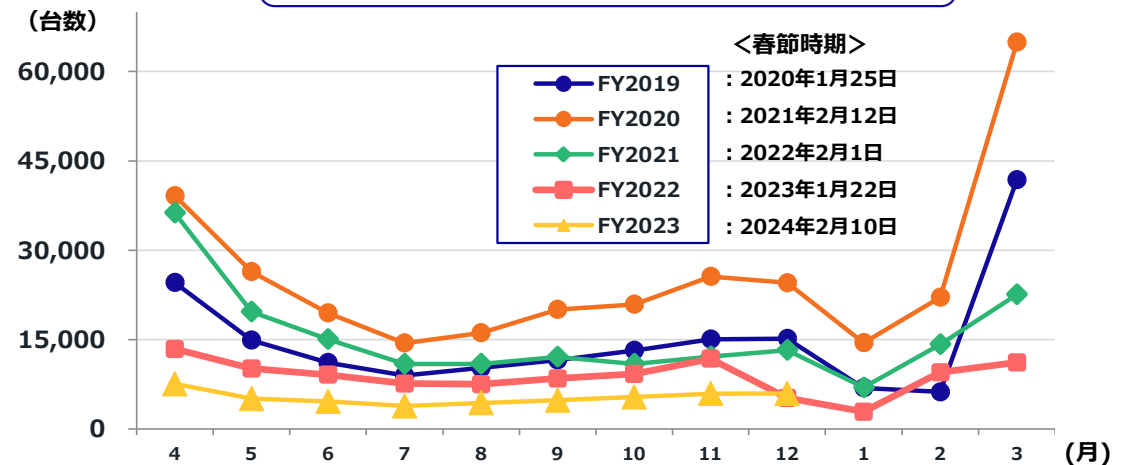
## 油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



## Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



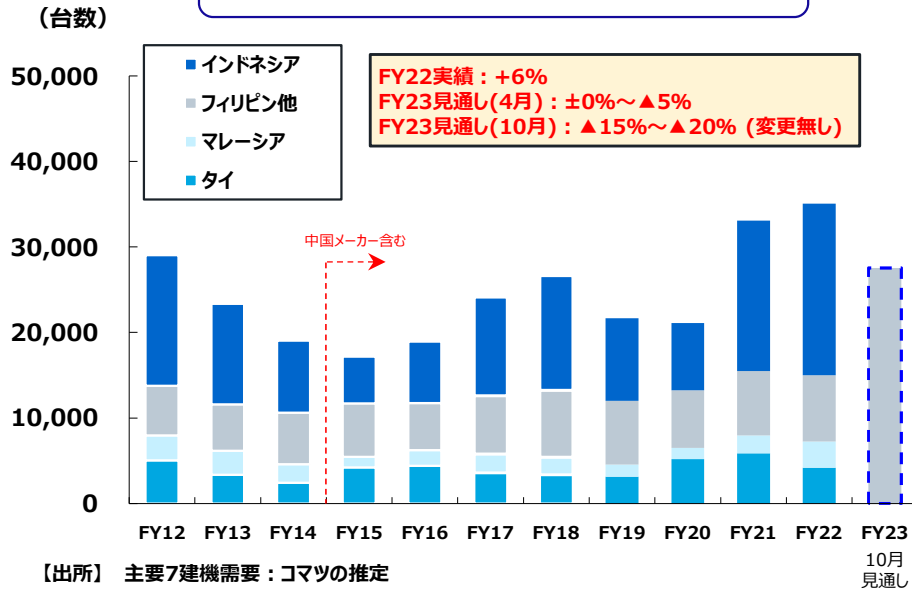
## 中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



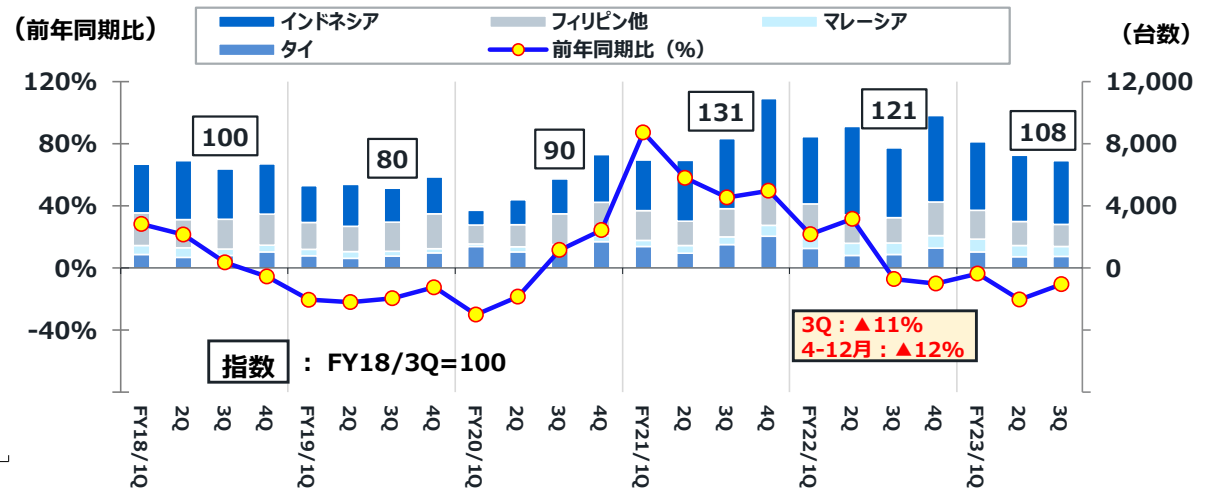
# ＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比▲11%の減少。インドネシアの鉱山機械は需要が堅調に推移したものの、一般建機ではインドネシア、タイ、ベトナムなどで公共事業予算執行の遅れや経済の先行き不透明感などにより需要が減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲15%～▲20%の見通し（10月見通しから変更無し）。

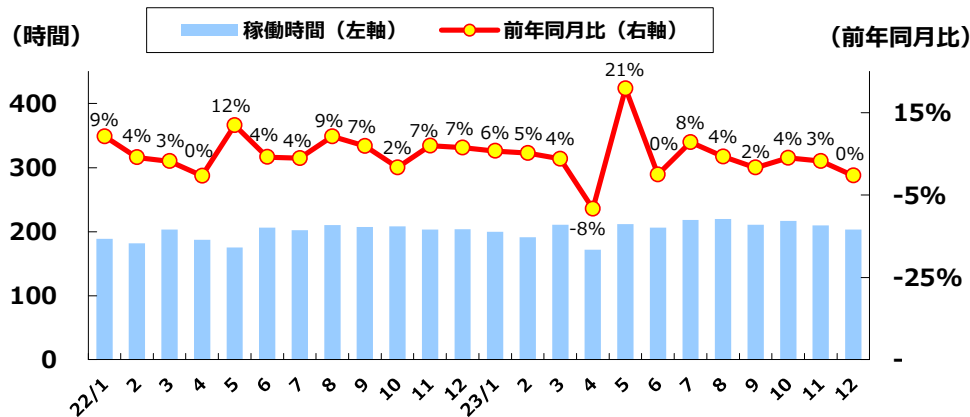
## 主要7建機 年度別需要推移



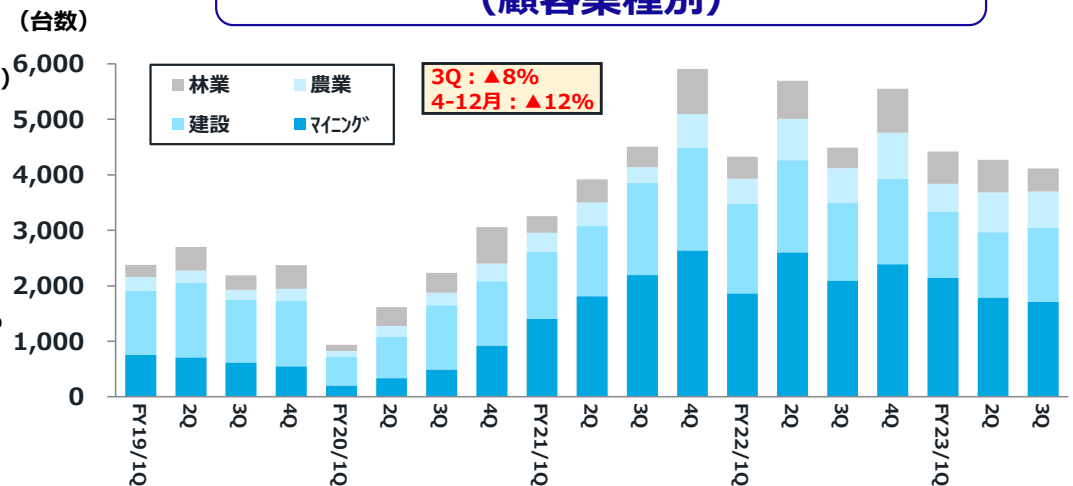
## 主要7建機 四半期需要推移



## Komtrax（インドネシア） 月平均稼働時間推移



## インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 （顧客業種別）

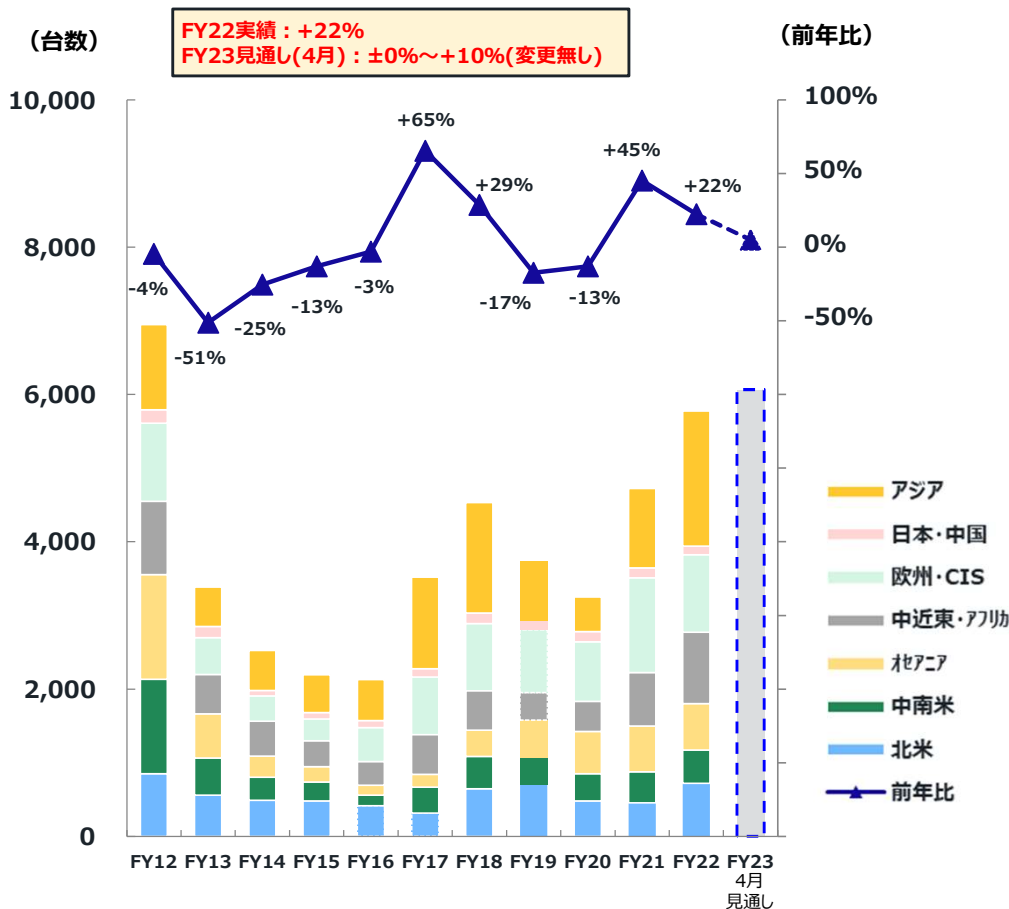


# <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

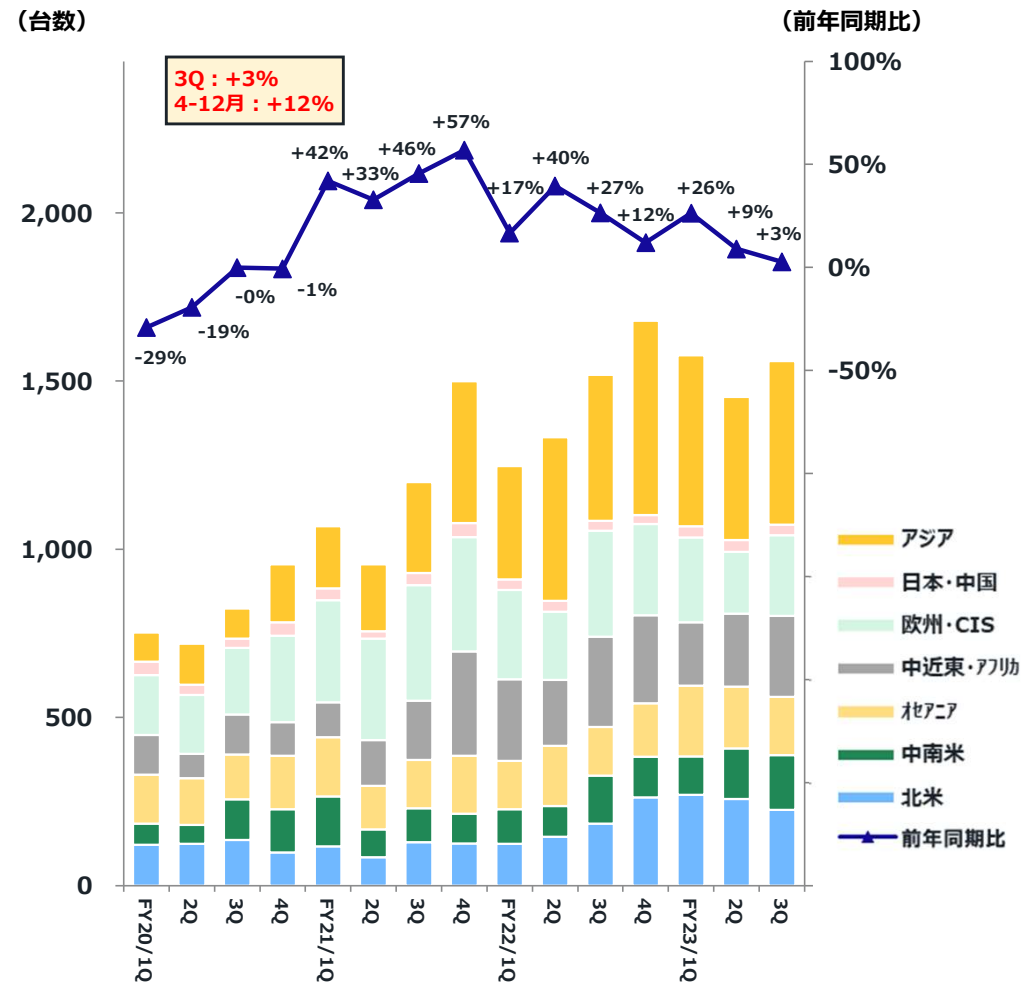
- ・2023年度第3四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

## 鉱山機械 年度別需要推移

- ・タンクトラック：75t（HD785）以上 ・フルパワー：525HP（D375）以上
- ・エクスカバター：200t（PC2000）以上 ・ホイールローダー（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターローダー：280HP（GD825）以上



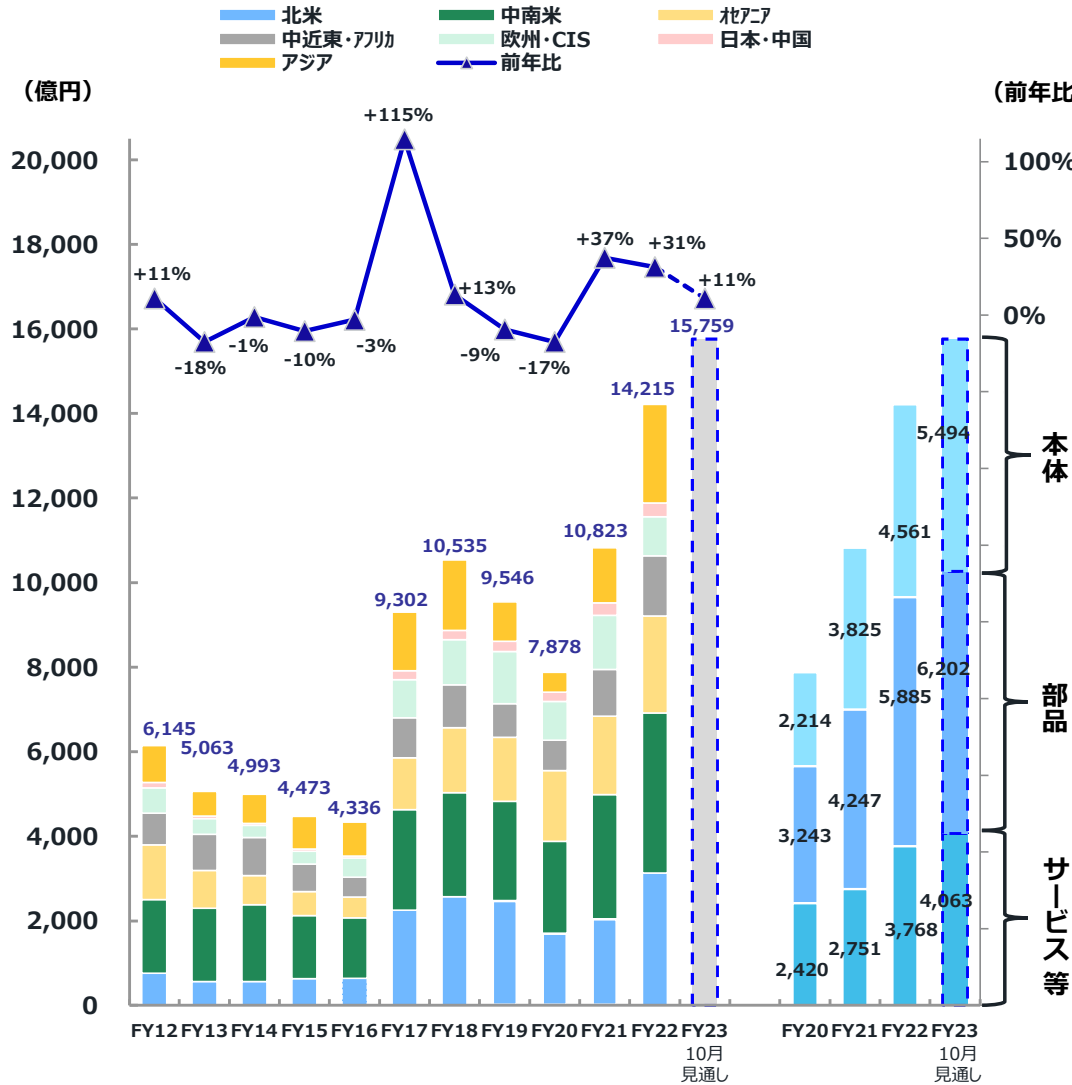
## 鉱山機械 四半期別需要推移



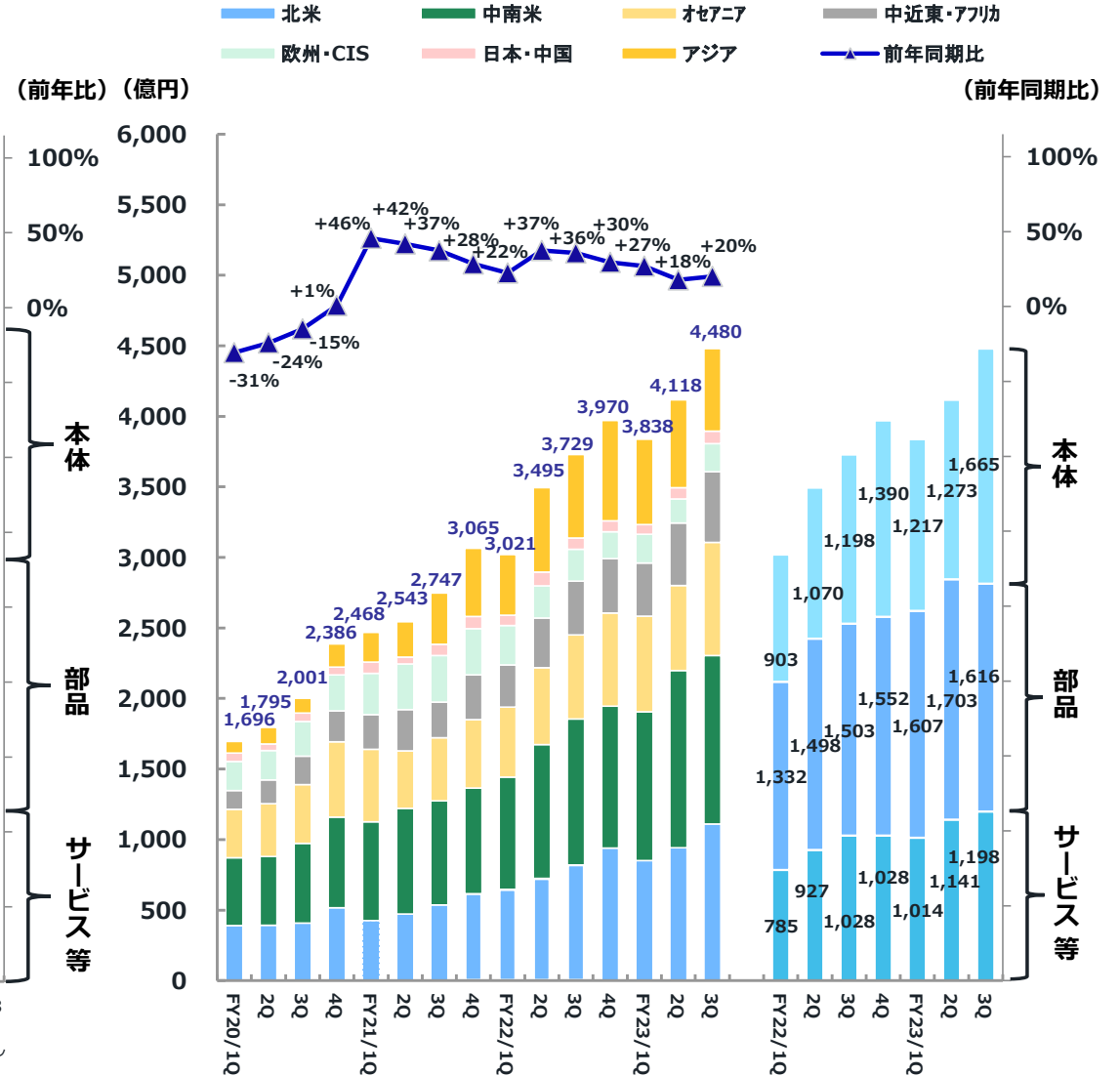
# <建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2023年度第3四半期の売上高は、前年同期比+20%増収の4,480億円。
- ・2023年度の売上高は、前年比+11%増収の1兆5,759億円の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



## 鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）

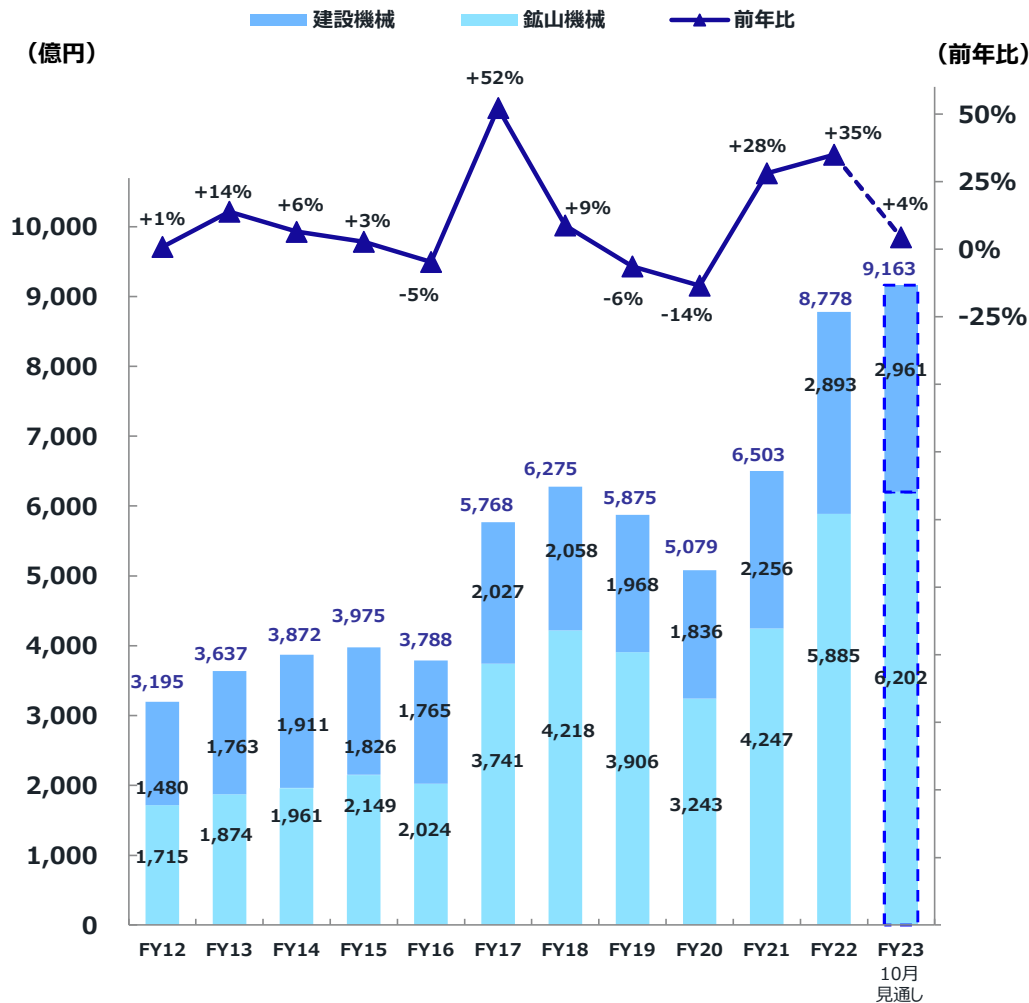




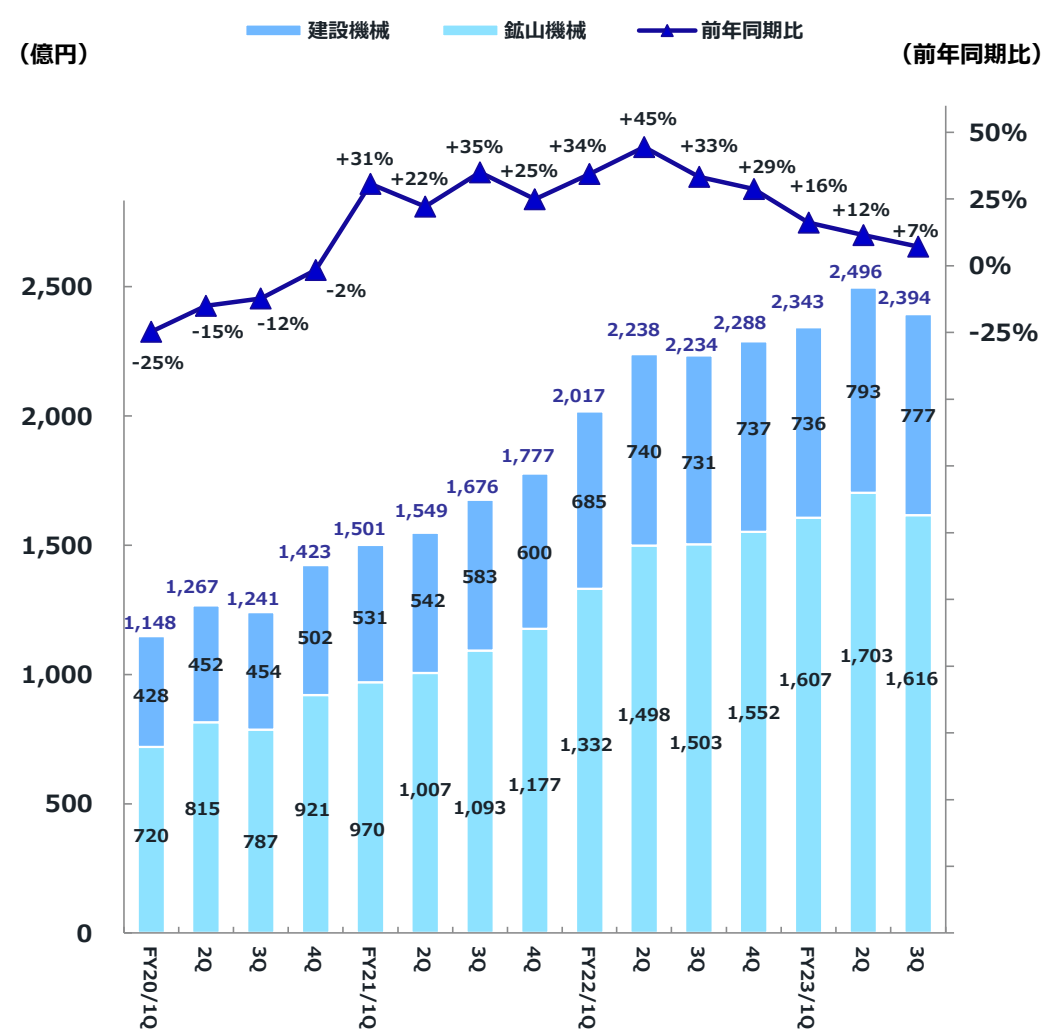
# ＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2023年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比+7%増収の2,394億円。
- ・2023年度の部品売上高は、前年比+4%増収の9,163億円の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 部品 年度別売上高



## 部品 四半期別売上高

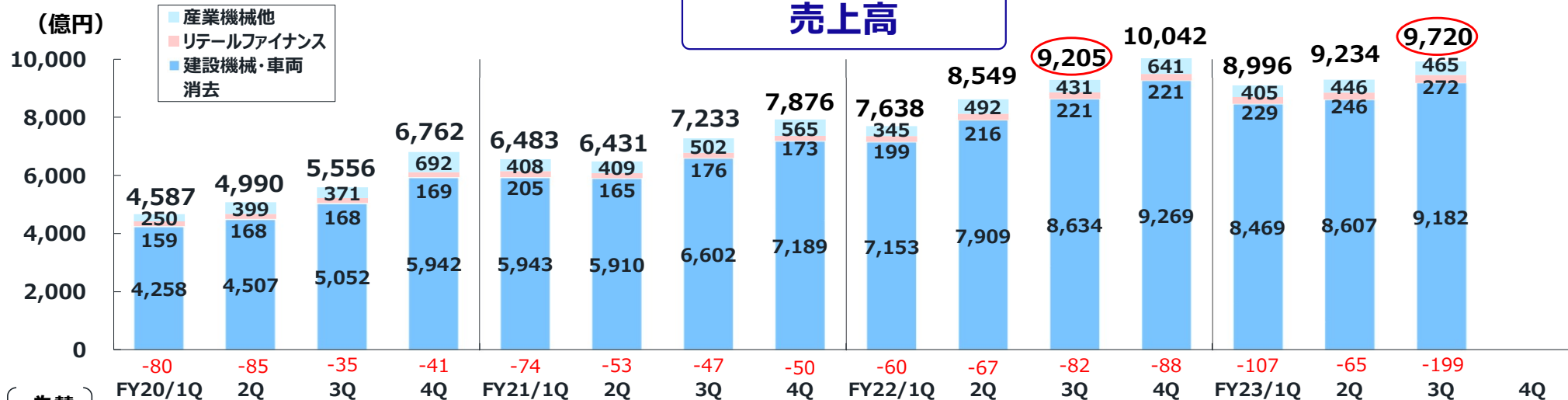




## 参考資料

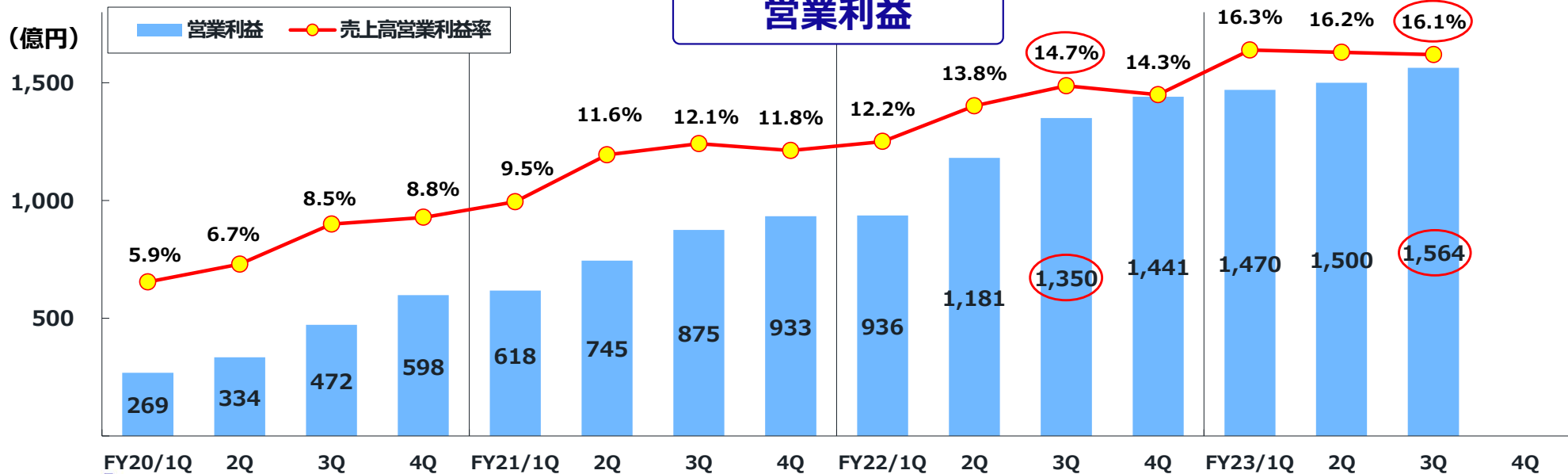
# 【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

## 売上高



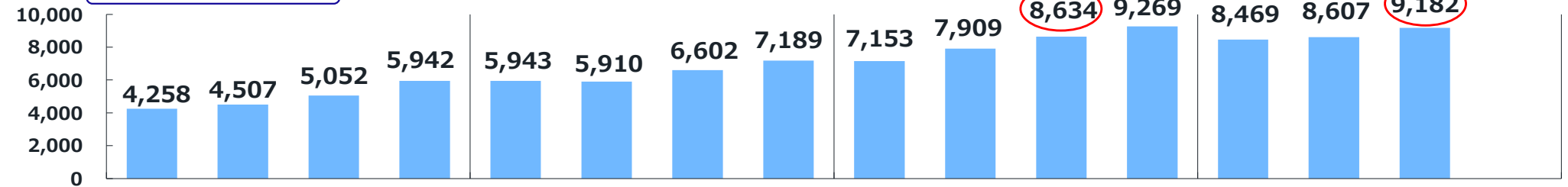
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	

## 営業利益



# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

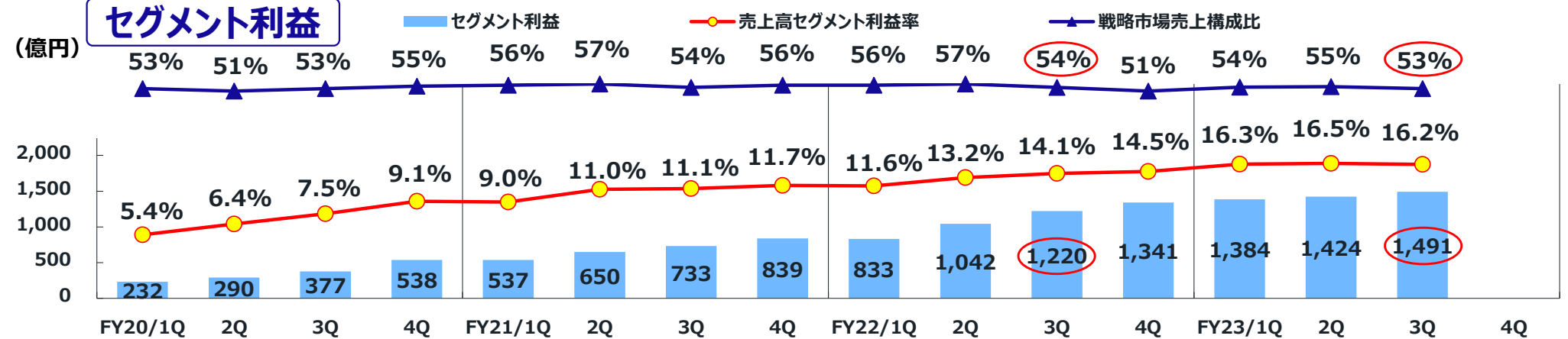
## 売上高



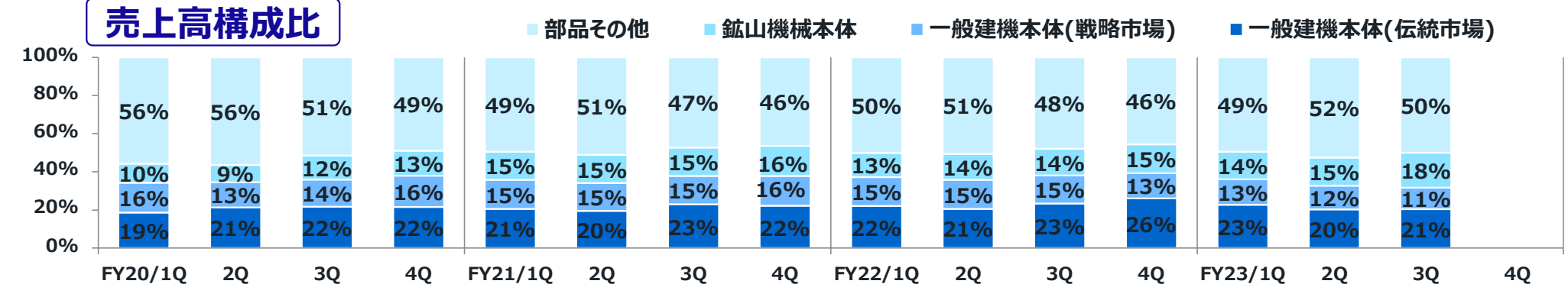
為替  
レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	

## セグメント利益

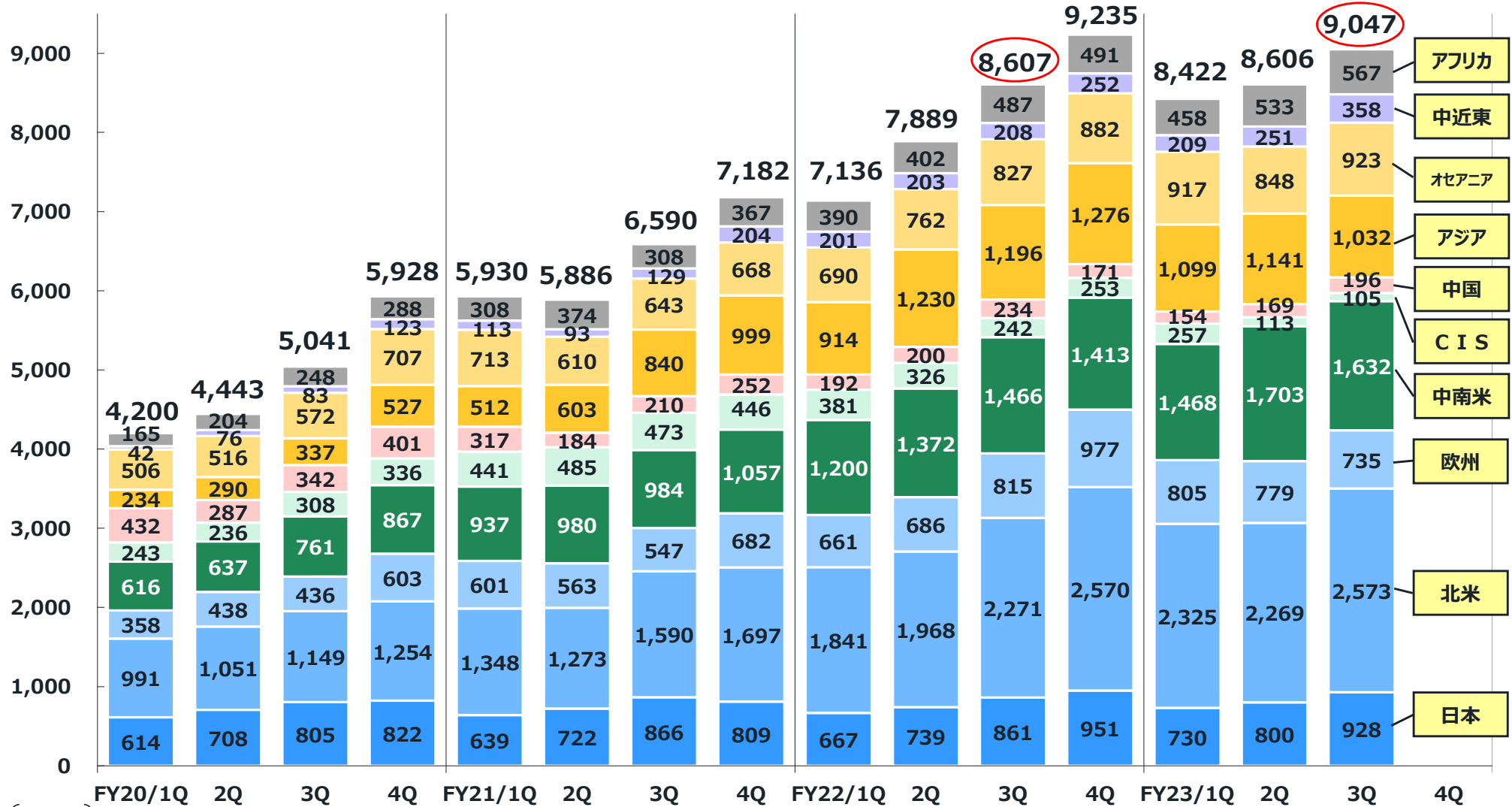


## 売上高構成比



# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

(億円)

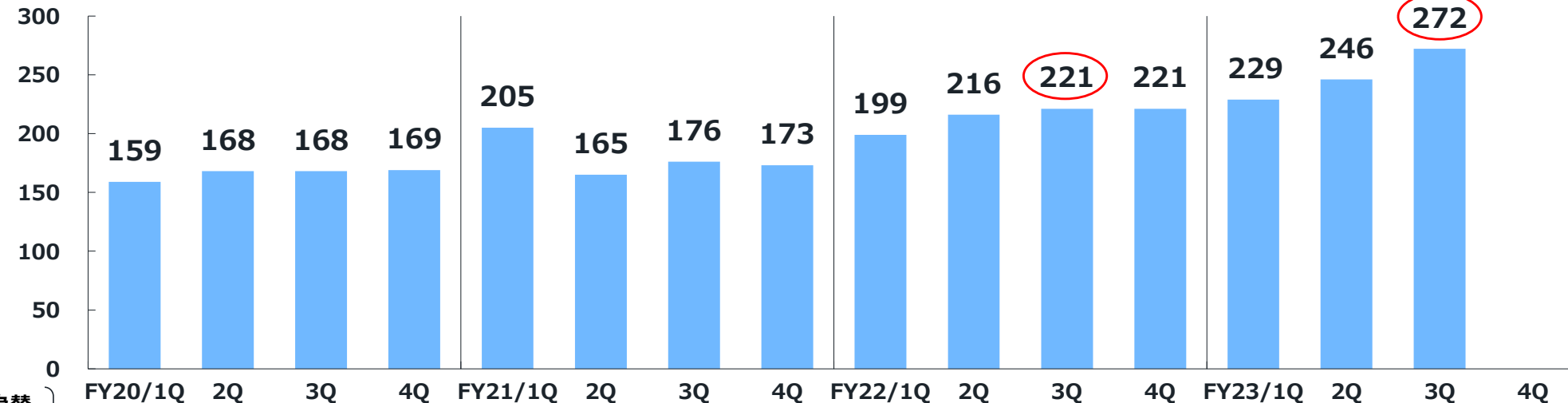


為替 レート	FY20				FY21				FY22				FY23			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	

# 【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

## 売上高

(億円)

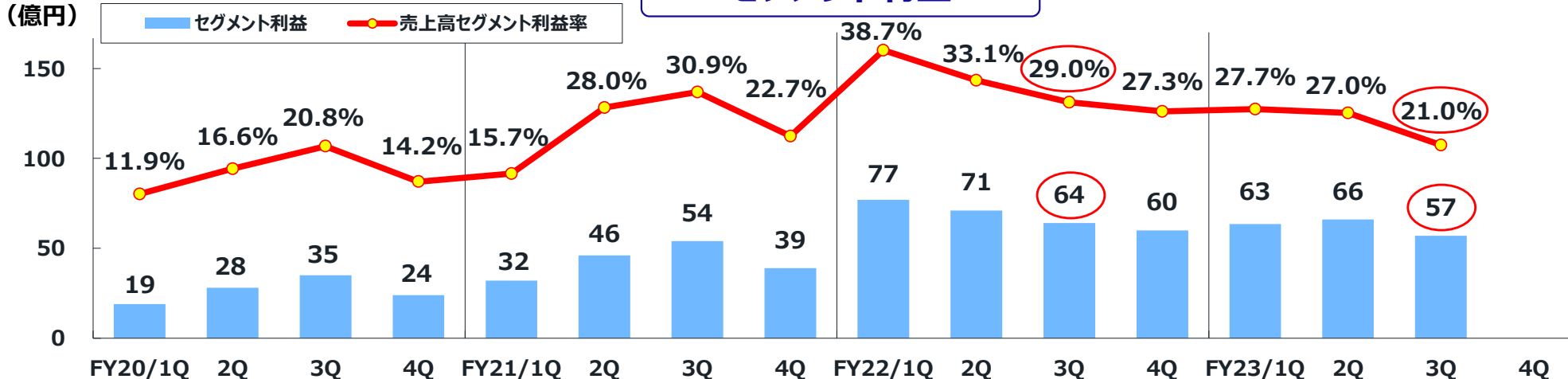


(為替レート)

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	-
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	-
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	-

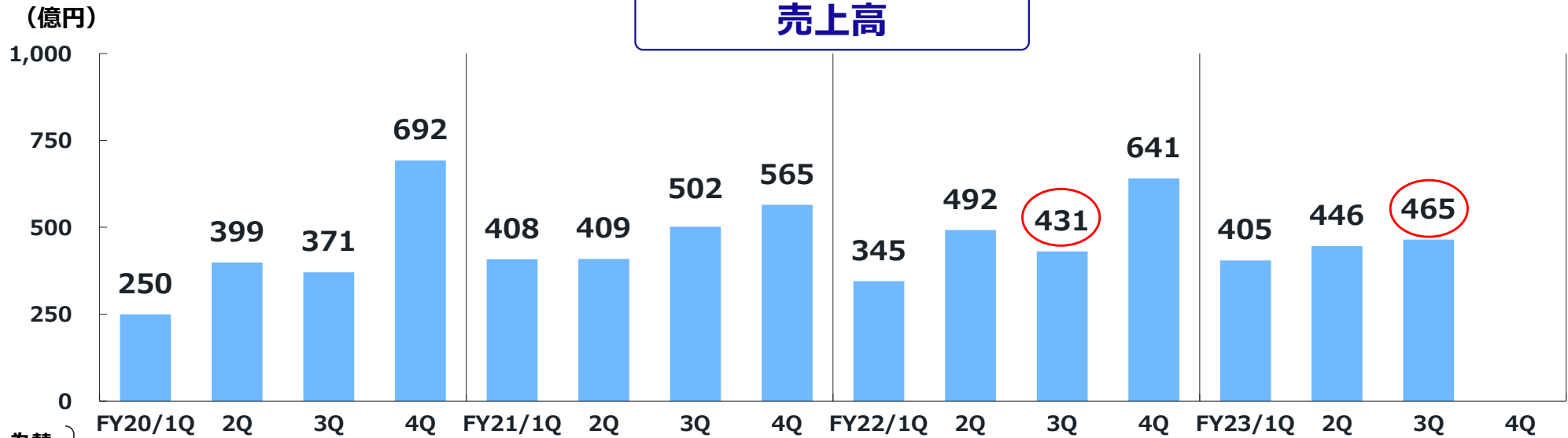
## セグメント利益

(億円)



# 【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

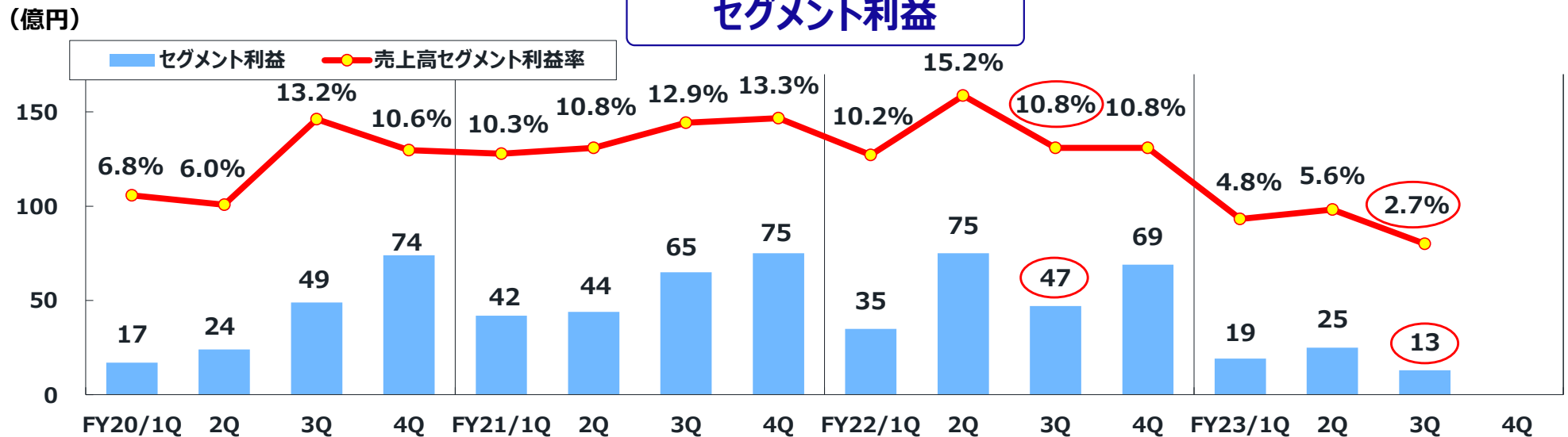
## 売上高



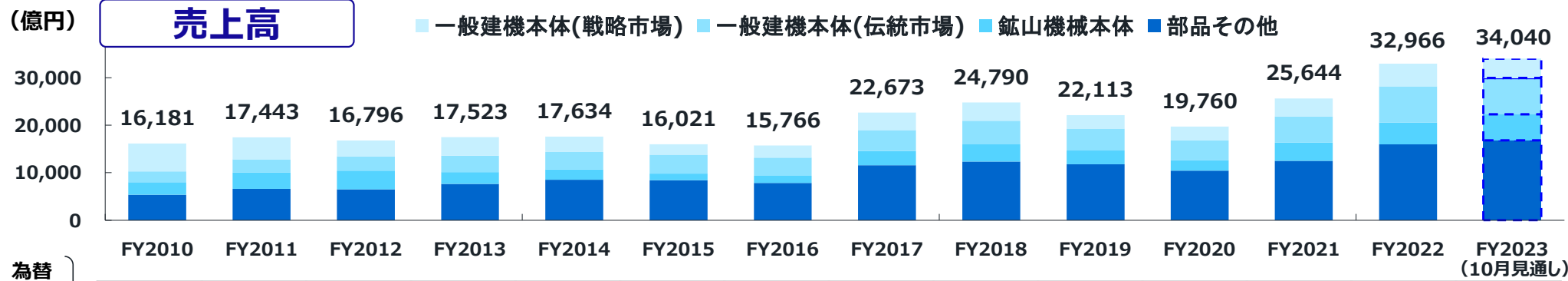
為替レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	

## セグメント利益

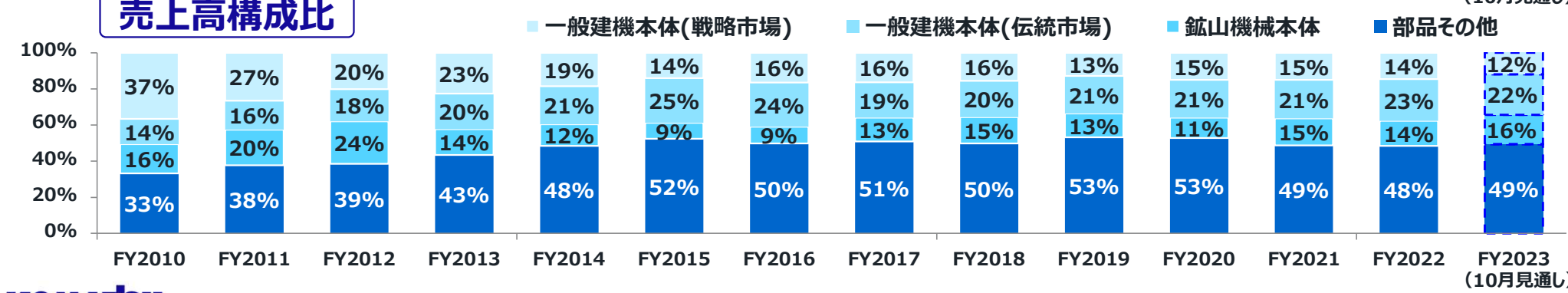
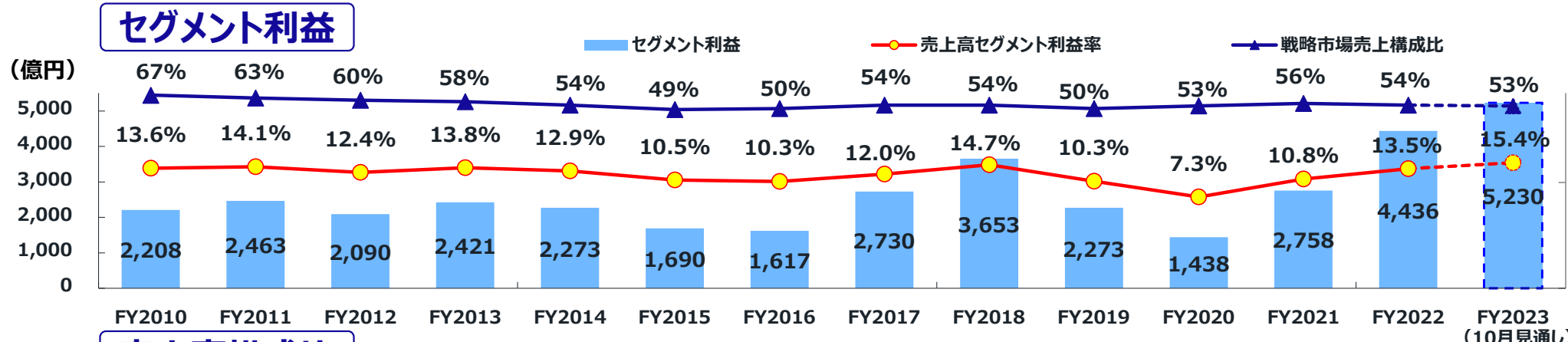


# 【参考資料】＜建設機械・車両＞売上高とセグメント利益の推移

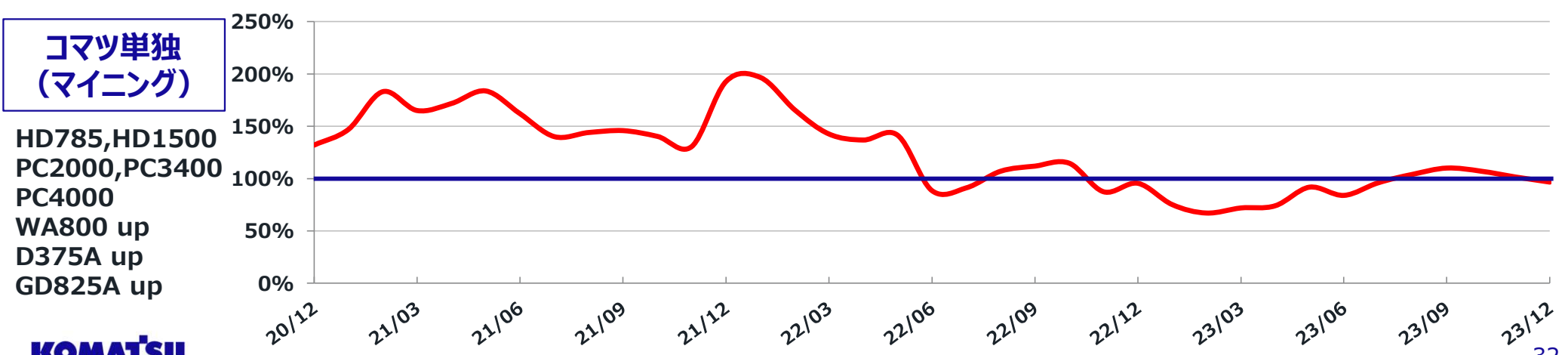
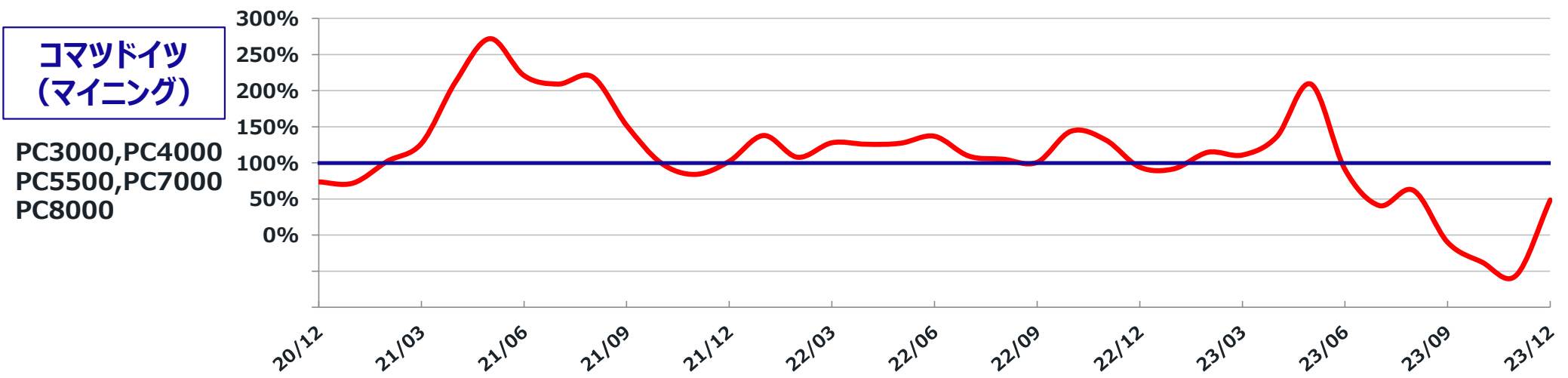
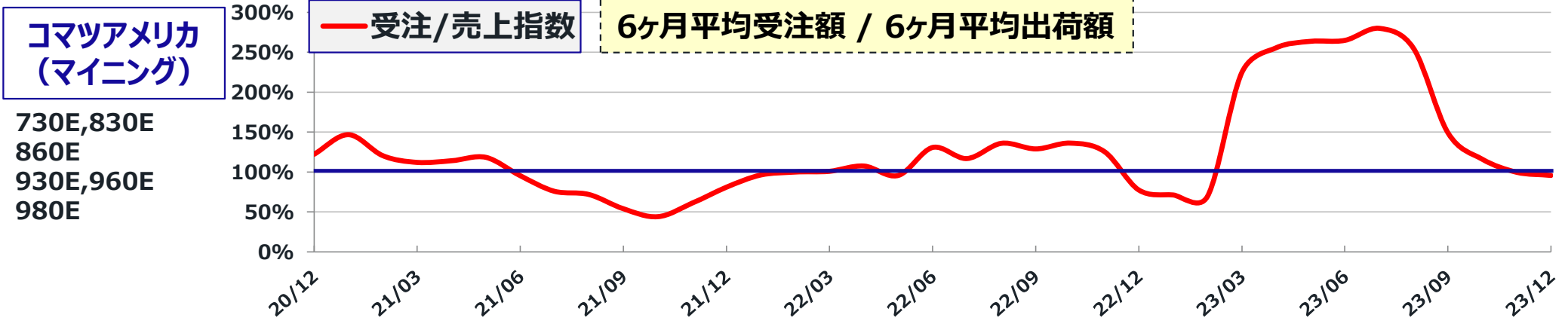


為替レート

	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
¥/USD	85.0	79.0	82.5	99.6	109.7	120.8	108.6	111.2	110.6	108.7	106.0	112.1	134.8	137.7
¥/EUR	113.0	110.0	106.6	132.8	139.6	132.4	119.3	129.6	128.5	120.8	123.4	130.4	140.3	150.3
¥/AUD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82.7	92.5	90.3



# 【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）



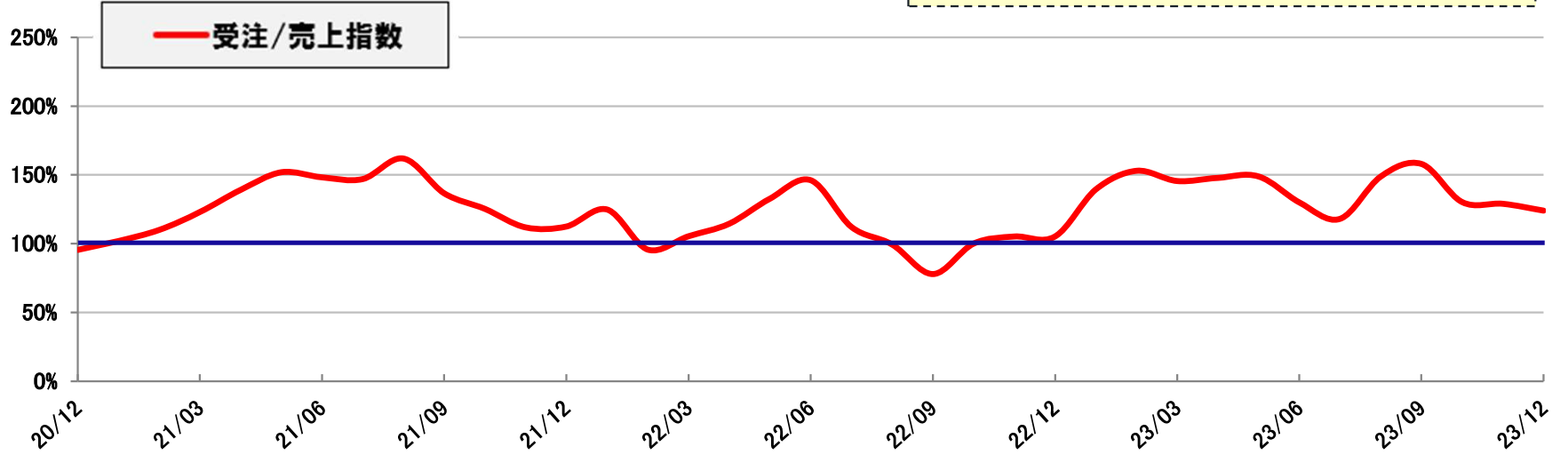


# 【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

## KMC (マイニング)

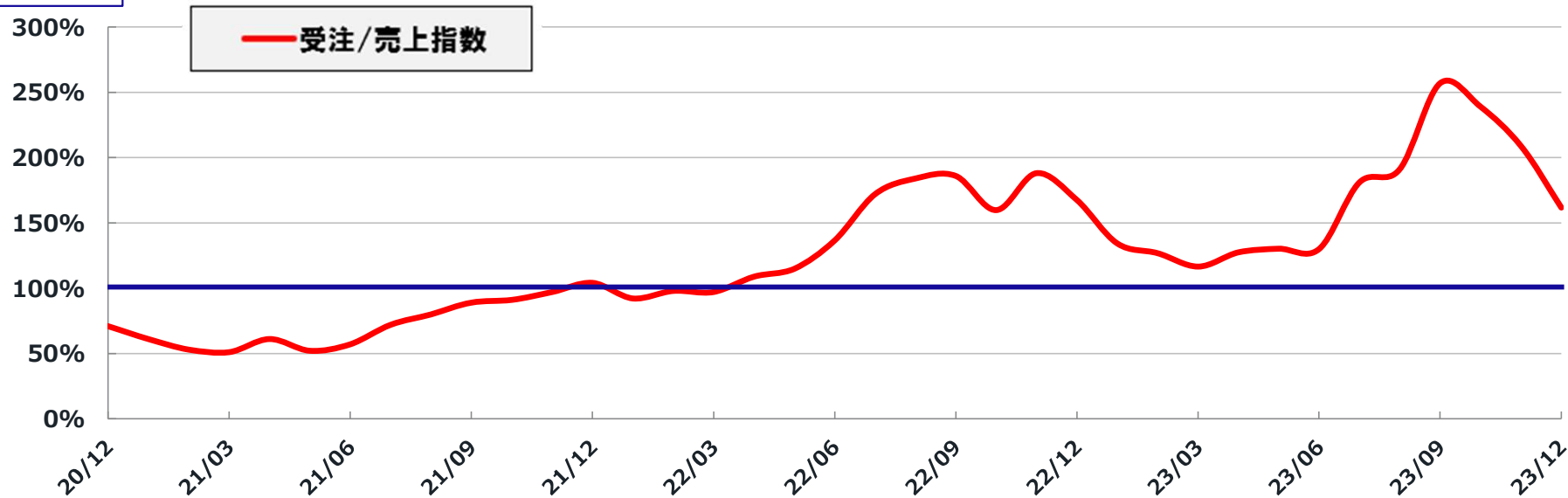
- <露天掘り>
- ロープショベル
- ブラストホールドリル
- ドラグライン他
  
- <坑内掘り>
- コンティニューアスマイナ
- シアラー
- ロードホールダンプ
- ジャンボドリル他



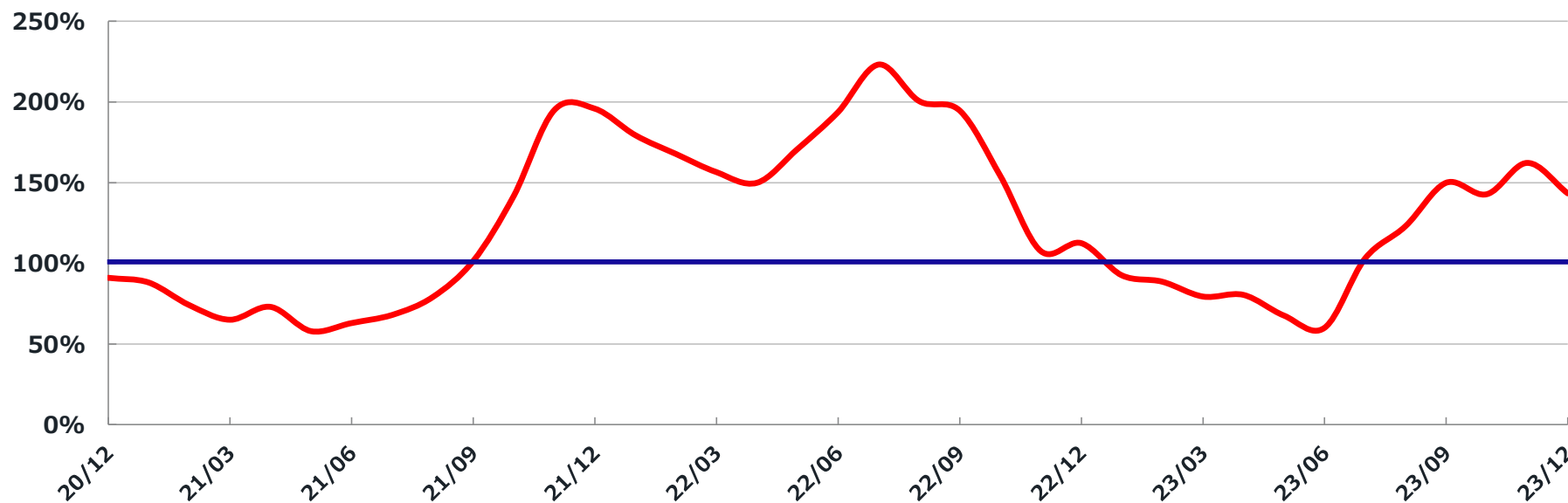
# 【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

## コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



## コマツNTC



## -電動化建機の市場形成を目指して- リチウムイオンバッテリー搭載13トンクラス電動ショベルを市場導入

- ・コマツは、リチウムイオンバッテリーを搭載した13トンクラスの電動ショベル「PC138E-11」を、日本市場へレンタル機として2024年1月以降に導入を開始します。
- ・日本市場への導入後、欧州市場にも導入することを予定しています。

(2023年11月16日 ニュースリリース)



## -カーボンニュートラル実現に向けた電動化事業の加速- 米国 American Battery Solutions社を買収

- ・コマツは、100%子会社であるコマツアメリカ株式会社を通じて、バッテリーメーカーである American Battery Solutions, Incを買収しました。
- ・電動化の需要が高まっている北米・南米の鉱山機械への同社バッテリーの導入を進め、将来的には建設機械への展開・グローバル供給体制の構築を目指します。(2023年11月20日 ニュースリリース)





## -バリューチェーンビジネスの進化による更なる成長を図る- ハイブリッド油圧ショベルの再生コンポーネント事業を国内で開始

- ・コマツは、日本において、ハイブリッド油圧ショベル用のキーコンポーネントであるキャパシタ（蓄電器）、インバーター（変換器）のリマン（再生コンポーネント事業）を開始しました。
- ・今後、海外のハイブリッド油圧ショベルの同コンポーネントについても、対象範囲を拡大していく予定です。

(2023年11月29日 ニュースリリース)



(左) ハイブリッド油圧ショベル稼働写真、(右) コマツハイブリッドシステムのイメージ

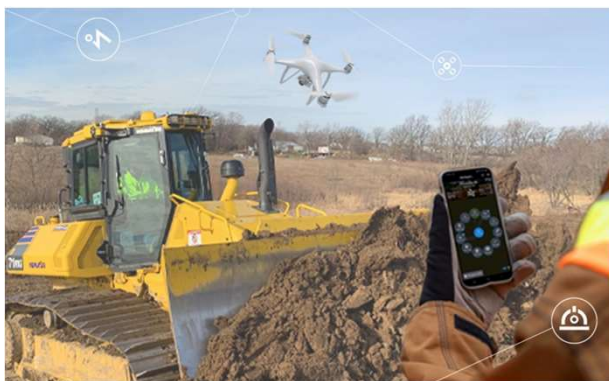


# -安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場の実現を目指す- 建設・鉱山機械の運行管理システムプロバイダーを買収

- ・コマツは、豪州の100%子会社を通じて、建設・鉱山機械運行管理システム（以下FMS）のプロバイダーである iVolve社（本社：オーストラリア キーンズランド州）を買収しました。
- ・iVolve社は、中小鉱山・砕石業向けFMSを手掛ける技術会社であり、リアルタイムデータへのアクセスを通じて、運行管理情報の見える化、ランニングコストの削減、安全運行を実現するシステムを提供しています。

(2023年12月1日 ニュースリリース)

## 建設土木業向け



スマートコンストラクション®

## 中小規模鉱山・ 砕石業向け



中小規模鉱山・砕石業向けの  
運行管理システムプロバイダー  
iVolve社を買収

## 大規模鉱山向け



モジュラーマイニングシステムズ社  
フリート・マネジメント・システム

# コマツとゼネラルモーターズがダンプトラック向け水素燃料電池の共同開発契約を締結

・コマツと米国の大手自動車メーカーであるゼネラルモーターズ（以下、GM）は、コマツのマイニングにおける主力機種である超大型ダンプトラック 930E向け水素燃料電池モジュールの共同開発契約を締結しました。

・建設・鉱山機械メーカーであるコマツと水素燃料電池技術を50年以上研究・開発し、最先端の技術を保有するGMが共同で技術の開発と検証を進めます。

(2023年12月13日 ニュースリリース)





## 株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

## 中期経営計画

[https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428\\_4](https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4)

## コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

## IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2023>

---

### 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。